

国語科学習指導案（5年〇組）

- 1 単元名 要旨を捉えたり、事例の並べ方の工夫を理解したりして自分の考えを伝えよう
－文章構造の特徴を生かし、自分の考えを持ったり、事例の述べ方を工夫して紹介文を書いたりする－
教材名 「生命のかて・塩」「東京スカイツリーのひみつ」

2 考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「C読むこと」の「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」と、「B書くこと」の「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」を受け、二つの領域の指導事項を関連付けた単元として設定するものである。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」との関わりでは、「イ(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」を指導する。

本単元を貫く言語活動として、6年生や家人に「ひみつを伝える紹介文を書こう」を位置付ける。これは、「C読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する言語活動」と、「B書くこと」の言語活動例「ウ 事物のよさを多くの人に伝えるための文章を書く言語活動」を受けたものである。児童は、秘密を知ることや知った秘密を他者に伝えることに興味を示す傾向がある。教材文「生命のかて・塩」と「東京スカイツリーのひみつ」で説明されている塩と東京スカイツリーは児童の生活に身近で親しみのあるものであるが、教材文で述べられている専門的な知識を持っている児童は少ないと思われる。そこで、教材文から学んだ秘密を他者に伝える紹介文を書く活動を単元を通して設定することで、目的を持って教材文を読んだり、文章を書いたりすると考える。また、単元の指導事項として要旨を取り上げ、読み取った要旨から自分の考えを持たせるとともに、秘密を紹介する文章に自分の考えも含めて書かせる指導を行う。

二つの教材文は、どちらも双括型の文章構成で、筆者は「始め」と「終わり」の部分で繰り返し主張を述べている。児童にとっては、教科書教材で初めて出合う文章構成の型である。双括型における「中」の部分で述べられる事例では、筆者は主張の根拠となる複数の事実を取り上げ、それらを説明する順序を工夫している。この工夫が読み手に根拠を分かりやすく伝えるとともに、主張に納得してもらう効果につながっている。文章構造の特徴に着目させて指導することにより、児童は教材文を読む時にも自分の考えを表現する時にも利用するものとして身に付けることができると考える。

以上のことから、児童は、本教材文から、要旨の読み取りを基にして自分の考えを持ち、双括型の文章構成と事例の述べ方の工夫という文章構造の特徴の理解と表現への活用を通して、自分の考えを明確に表現する力を高めていくと思われる。

(2) 指導方針

本単元では、双括型の文章構成、要旨、事例の並べ方、事例と主張との関わりについて重点的に指導を行う。既習事項では、文章構成の二つの型の利用、要点の読み取り、文の性質を読み取る文末表現などの利用を行う。そのため、既習事項の実態を把握し、状況に応じて児童がそれらを想起できるよう振り返りの活動を取り入れる。

3 研究とのかかわり

本単元では、まず、教材文から文章構造の特徴の一つである文章構成を捉えさせ、すぐに自分の考えの表現にそれを使って意見文を書く試行させるワークシート「マイシート1」を用いる。これは、児童に、説明的な文章では筆者が主張を伝えるために文章構成を意図的に工夫していることを理解させること、自分の考えを書く場合にもその文章構成を利用すれば考えが伝わりやすい文章になることを理解さ

せるためである。

次に、教材文の内容の読み取りから身に付けさせたい文章構造の特徴とその効果を理解させるワークシート「マイシート2」を用いる。本単元では、事例の述べ方の工夫として、根拠として複数挙げられた事実を並べる順序に着目させる。話題に対して説明される事実は、時間的な順序で述べられていたり、主張に対する根拠としての重要度で並べられていたりする。教材文の事例の並べ方を分析させ、その効果を主張と関わらせて考えさせることで事例の効果的な並べ方について理解させる。

そして、理解した文章構造の特徴を利用して自分の考えを意見文に書かせるワークシート「マイシート3」を用いる。児童に、「マイシート1・2」で学んだ双括型の文章構成や事例の並べ方についても一度振り返ってシート上に記述させ、書く際にそれらを利用する意識を高めてから紹介文を書かせる。書いた後は、記述した文章構造の特徴が適切に利用できたか自他による評価活動をさせ、自分の考えを明確に表現できるようにさせる。

4 単元の目標

文章構造の特徴を生かし、要旨を捉えて自分の考えを持ったり、事例の述べ方を工夫して紹介文を書いたりすることができる

5 指導計画（全9時間予定）

評価 規 準	国語への 関心・意欲・態度	秘密を伝えるために、説明的な文章を文章構成や主張、事例の述べ方に着目しながら読んだり、事例の並べ方を工夫して自分の考えを書いたりしようとしている。		
	書く能力	主張の伝わりやすい文章にするために、双括型の文章構成や事例の並べ方の効果を理解し、自分の考えを伝える文章に用いている。		
	読む能力	説明的な文章を読んで自分の考えを持つために、文章構成や筆者の主張、事例の並べ方に着目しながら要旨を捉えている。		
	言語についての 知識・理解・技能	双括型の文章構成や事例の並べ方、順序を表す言葉などの文章表現の効果を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。		
時 間	過 程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	課 題 把 握	○題名読みの知識 ○語句の意味の理解	○体験から課題を見付ける力 ○学習課題から学習の見通しを持つ力	○日常生活の経験を基にして学習課題を設定する。 ○学習の見通しを持つ。 ○主教材「生命のかて・塩」を読む。
第2時	課 題 追 究	○文章構成の知識 ○文末表現で文の性質を見分ける知識 ○見出し（小見出し）の知識	○主張と事例を区別し、文章構成を捉える力	○主教材の文章構成を捉え、小見出しを付ける。 ○双括型の文章構成を使って身近な話題で紹介文を書く。 マイシート1
第3時		○要点・要約の知識 ○順序を表す言葉の知識	○中心となる語や文を手掛かりに文章を読み、要点や要約をまとめる力	○主教材の筆者の主張を捉える。 ○主張の根拠となる事例をまとめる。 ○筆者の事例の述べ方の工夫について考える。 マイシート2
第4時		○事例の知識 ○順序を表す言葉の知識	○要旨をまとめる力 ○主張とその根拠となる事例を関連させる力	○主教材の要旨をまとめる。 ○要旨を基に自分の考えを持つ。 ○事例の並べ方を工夫して紹介文を書く。 マイシート3
第5時		○要点・要約の知識 ○順序を表す言葉の知識 ○中心となる語や文の	○順序を表す言葉や中心となる語や文を手掛かりに要点をまとめる力	○副教材「東京スカイツリーのひみつ」を読み、筆者の主張を捉える。 ○順序を表す言葉や中心となる言葉を手掛かりに事例の要点をまとめ

	知識		る。
第6時	○要旨の知識 ○事例の知識	○要旨をまとめ、自分の意見を持つ力 ○意見とその根拠となる事例を関連付ける力	○筆者の事例の述べ方の工夫について考える。 マイシート2 ○副教材の要旨をまとめる。 ○要旨を基に自分の考えを持つ。 ○事例の並べ方を工夫して紹介文を書く。 マイシート2 マイシート3
第7時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○順序を表す言葉の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○文章構成や文章表現の工夫して紹介文を書く ○友達と文章構成や文章表現について助言し合う。 マイシート3
第8時	まとめ ○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○順序を表す言葉の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○助言を基にして文章構成や文章表現を確かめながら紹介文を清書する。 マイシート3
第9時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○順序を表す言葉の知識	○主張と事例を捉える力	○秘密を伝える紹介文を発表する。 ○友達の紹介文の評価を行う。

6 本時の展開 (1 / 9)

(1) ねらい

学習課題解決に向けて身に付けたい力を知ることを通して、学習の見通しを持つことができる。

(2) 準備

教師－学習計画表、塩・東京スカイツリーの画像、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」の掲示物

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

なし

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 「生命のかて・塩」「東京スカイツリーのひみつ」の題名読みをして、文章の内容を類推する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩が命にとって大事だという話かな。 東京スカイツリーの秘密を知ることができるのかな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 塩と生命の関係を捉えさせるため、「かて」の意味や「・」の役割を確認する。 ◎学習への興味を喚起するために、塩や東京スカイツリーの画像を見せたり、知っていることを発表させたりする。
<p>2 学習課題から身に付けたい力を知る。</p> <p>学習課題－「ひみつを伝える紹介文を書こう－事例の並べ方を工夫して自分の考えを書く－」</p> <ul style="list-style-type: none"> 紹介文はどう書くのかな。 事例にはどんな並べ方があるのかな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を読んで得た新たな知識を、紹介文を書いて他者に伝える意義を考えさせることをきっかけとして学習課題を提示する。 学習課題を解決させるのに必要な「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」を提示し、今、自分に必要な力を捉えさせ、学習への目的を持たせる(次頁「7 板書計画」参照)。
<p>3 学習計画表を基に学習の見通しを持つ。</p> <p>本時のめあて－学習課題から、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向けて学習を頑張ろう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 学習の見通しを持たせるために、学習計画表に学習のめあてを児童に記入させる。また、毎時間の学習の終わりに分かったことなどを書かせ、学習の振り返りをさせる。
<p>4 主教材「生命のかて・塩」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩には、いろいろな働きがあるんだな。 初めて知った塩の働きがある。 知っている働きがあるよ。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字の読みや語句の意味調べを確認させる。 初発の読みの観点として「塩にはどんな働きがあるか」を伝え、内容の把握への意識を持たせる。
<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成に気を付けて意見文を書けるようにしたい。 筆者の主張を基に自分の意見を持てるようにしたい。 根拠を基に意見が持てるようにしたい。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りには「課題解決に向けてこれからの学習で身に付けたい力」について書かせ、意欲を見取る。 <p>【 関心・意欲・態度】</p> <p>◇学習課題の解決に向けて、秘密を伝えるために身に付けたい力を書いている。(学習計画表)</p> <p>※「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」</p>

7 板書計画

6 / 15 月 ↓ である・II

「生命のかて・塩」

みなもと、欠かせないもの

生命にとって欠かせないものである塩

「東京スカイツリーのひみつ」

東京スカイツリーにかくされているひみつ

写真

塩

写真

スカイツリー

学習課題

ひみつを伝える紹介文を書こう

―事例の並べ方を工夫して、自分の考えを書く―

本時のめあて

学習課題から、学習計画を立てる。

分かりやすく伝えるために身に付けたい力

- ・文章構成（文章の組み立て）を理解する力
- ・筆者の主張（考え）を見付ける力
- ・要旨をまとめる力
- ・要旨を基に自分の考えを持つ力
- ・事例の述べ方を工夫する力
- ・文章構成や表現の工夫を考えて書く力

学習計画表

8 マイシートの利用

本時はなし

9 その他

・学習計画表

9時	8時	7時	6時	5時	4時	3時	2時	1時	
6/25	6/24	6/23	6/22	6/19	6/18	6/17	6/16	6/15	
を提案する	自分の考えを書く を工夫して	自分の考えを書く を工夫して	を工夫して を持つ	をまとめる の工夫が分かる	を持つ	をまとめる の工夫が分かる	が分かる	を知る を立てる	学習計画 ふり返り
									先登より

◇ 「生命のかて・塩」「東京スカイツリーのひみつ」I
五年 番氏名（ ）

学習のめあて 学習課題から学習計画を立てる。

学習課題 ひみつを伝える紹介文を書こう
―事例の並べ方を工夫して、自分の考えを書く―

6 本時の展開 (2 / 9)

(1) ねらい

文章構成を調べたり、双括型で文章を書いたりすることを通して、双括型の文章構成を理解することができる。

(2) 準備

教師－文章構成の三つの型(尾括型・頭括型・双括型)、「生命のかて・塩」本文拡大、
「マイシート1」の拡大、紹介文の例文、
※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」
児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート1」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文の文章構成が分かる。</p> <p>・主張の書かれている段落がどこにあるかで型が決まってくる。</p>	5分	<p>・既習の二つの文章構成の型を提示してそれぞれの型の内容を想起させ、利用できるようにさせる。</p> <p>・文章構成の型を調べるために、筆者の主張が書かれている段落を調べれば良いという見通しを持たせる。</p> <p>◎既習の二つの文章構成について掲示物を見せて想起させ、学習で利用できるようにさせる。</p>
<p>2 主教材「生命のかて・塩」を読み、文章構成を調べる。</p> <p>(1)音読後、形式段落を確認する。</p> <p>(2)筆者の主張を見付けて確認する。</p> <p>・筆者の主張はどこに書かれているかな。</p> <p>・文末表現で分かる。</p> <p>・主張が始めと終わりの両方にあるみたいだ。</p> <p>(3)意味段落の小見出しを考え、双括型の文章構成を理解する。</p> <p>・「人間にとって必要な塩」と「欠かすことのできない塩」は同じことを言っていると思う。</p> <p>・今までに習った文章構成の型に当てはまらないな。</p> <p>・新しい文章構成は双括型と言うんだ。</p> <p>・どうして筆者の主張が2回も出てくるんだろう。</p>	15分	<p>◎拡大した全文の掲示物で形式段落番号を確認させ、段落ごとの内容の読み取りができるようにさせる。</p> <p>・自力解決を促すため、個で筆者の主張が書かれている所に線を引かせてから全体で確認させる。</p> <p>・主張以外の段落には何が書かれているか考えさせる。</p> <p>・文章全体の構成を捉えさせるため意味段落ごとに小見出しを考えさせ、「マイシート1」Aに記入させる(次頁「7 板書計画」中の小見出し参照)。</p> <p>◎小見出しのまとめ方を想起させるため、中心となる語や文を見付ければ良いことを伝える。</p> <p>・小見出しの内容から、筆者の主張が「始め」と「終わり」で述べられている双括型の文章構成であることや双括型の文章構成の特徴を考えさせ、「マイシート1」Bに記入させる。</p> <p>・双括型で主張を繰り返し述べることで、主張を強調し、読み手に主張を訴える力が高まることに気付かせる。</p>
<p>3 双括型の文章構成を使って、身近な話題で紹介文を書く。</p> <p>(1)紹介文の例文を読んで、文章構成や文末表現を確認する。</p> <p>・始めの段落から自分の考えを述べていいんだな。</p>	20分	<p>・児童が文章を書きやすい身近な話題「尾瀬の自然について」を提示し、100字程度の紹介文を書かせる。</p> <p>・「マイシート1」Cの枠を利用した例文を提示し、枠ごとに書かれている内容や文末表現を確認させる。</p> <p>・自分の考えを述べる文末表現は「～と思う」「～と考える」を使うことを知らせる。</p>

- ・自分の意見は体験から考えたことや人に伝えたいことを書けばいいんだな。
- (2) 紹介文を書く。
- ・植物を紹介しよう。
 - ・みんなにも植物を見てほしいな。
 - ・始めと終わりに考えを書くんだな。
- 4 本時の振り返りをする。
- ・主張→事例→主張の順で書かれている。
 - ・主張が始めと終わりに書かれている。

- ・双括型で紹介文を書かせるため、書き終えた児童にはペアで意見文を発表させ、始めと終わりで自分の考えが述べられているか確認させる。
- ◎ 体験学習に行った経験や感想を教師と一緒に振り返らせることで、紹介文に書く内容を見付けさせる。
- 5 分
- ・振り返りでは、「双括型の文章構成で分かったこと」を書かせ、理解の様子を見取る。
- 【読む】

◇ 双括型の文章構成を理解している。(学習計画表)

【書く】

◇ 双括型の文章構成で紹介文を書いている。

(マイシート1)

※ 主張→事例→主張の順で文章が書けていればB評価

7 板書計画

例文 話題 「尾瀬の自然について」

私は、多くの人に尾瀬の美しい植物を見てほしいと思います。

私は、体験学習でニッコウキスゲの花を見ました。まるで黄色いじゅうたんのように湿原一面に咲いていて、花の国にいるようでした。

私は、一人でも多くの人に尾瀬の美しい植物を見てほしいと思います。

双括型の文章構成を使って書こう

- ・ 主張が2回
- ・ 同じ主張を繰り返す

(例)

主張を強く伝えられる。
筆者の主張がはっきり分かる

双かつ型		文章構成		小見出し	
中	筆者の主張	中	筆者の主張	中	筆者の主張
事例	筆者の主張	事例	筆者の主張	事例	筆者の主張
終わり	筆者の主張	終わり	筆者の主張	終わり	筆者の主張

「生命のかて・塩」の文章構成

6 / 16 火

「生命のかて・塩」

学習のめあて

文章構成を理解し、同じ文章構成で書く。

8 マイシートの利用

二 同じ文章構成で文章を書こう

話題 「尾瀬の自然について」

C

マイシート1

学習のめあて 文章構成を理解し、同じ文章構成で書く。

一 「生命のかて・塩」の文章構成を表にまよめよう。

文章構成	小見出し	文章構成の持ちよう
------	------	-----------

A

B

6 本時の展開 (3/9)

(1) ねらい

筆者の主張と事例をまとめることを通して、主張と事例の述べ方の関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師－「生命のかて・塩」本文拡大、「マイシート2」の拡大

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本時のめあて－事例の述べ方の工夫が分かる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の述べ方には、どんな工夫があるのかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・事例として何が書かれているかに着目させ、事例の述べ方と主張がどのように関係してくるか考える学習であることを伝える。 ◎事例は「中」の段落で述べられていることを確認させ、読み取る文章の範囲に気付かせる。
<p>2 「生命のかて・塩」の筆者の主張と事例を読み取る。</p> <p>(1)筆者の主張を書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めと終わりの小見出しを使って主張をまとめよう。 <p>(2)事例をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点をまとめよう。 ・小見出しは「塩の働き」だったな。 ・順序を表す言葉もヒントになるな。 ・働きがすぐ分かる段落がある。 ・塩っているんな働きがあるんだな。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を「マイシート2」Aに書いて強調させ、主張と事例の関わり視覚的に捉えさせる。 ・筆者の主張は前時に小見出しにして捉えているので二つを合わせて文にすれば良いことを伝える。 ・段落の要点をまとめることで、事例を整理できることを知らせ、事例のまとめ方の見通しを持たせる。 ・自力で事例の内容をまとめられるように、キーワードの「働き」や順序を表す言葉を手掛かりにして要点をまとめることを確認する。 ・「マイシート2」Bに事例をまとめたものを順序よく記述させ、事例の並べ方の工夫が読み取れるようにする。
<p>3 事例の並べ方の様子やその効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めの三つは体の中の働きのことで、後の二つは調味料としての働きだ。 ・体の中のことは良く分からないけど、味のことなら分かるよ。 ・塩は食べ物をおいしくしてくれる。だから人は塩を自然にとっているんだな。 ・事例の順番を工夫して並べることで筆者の主張が強まっている。 ・事例を工夫して並べると読み手は筆者の主張に納得するな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の並べ方から気付いたことを少人数(3人程度)のグループで話し合わせて発表させる。 ・塩の「体の中」での働きと、「体の中だけではありません」に着目させることで、事例の述べ方にまとまりや順番があることに気付かせる。 ・どちらか一方の説明しか書かれていなかったらと仮定して文章を読ませることで、多面的に事例が述べられ、読み手の関心を引いていることに気付かせる。 ・事例は、筆者の主張の根拠となり、主張を支えるためにまとまりごとに書かれ、その順番も工夫されていることを理解させる。 ・事例の並べ方により、筆者の主張がより強調された

6 本時の展開 (4/9)

(1) ねらい

要旨を基に自分の考えを持ち、塩の働きを二つ以上挙げて紹介文を書くことができる。

(2) 準備

教師－「マイシート3」の拡大、紹介文の例文、文章構成の型(双括型)、要旨の説明カード

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

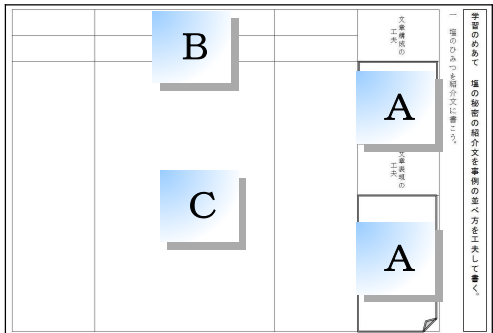
学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－塩の秘密の紹介文を事例の並べ方を工夫して書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩の秘密を家の人に教えてあげたいな。 どんな秘密をどんな順番で書こうかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 前時に理解した事例の並べ方の工夫とその効果を自分が書く紹介文でも利用する学習であることを伝え、学習の見通しを持たせる。 自分の考えを持つためには要旨をまとめて筆者の主張を捉える必要があることを伝え、要旨がまとめられるようになる必要性を伝える。
<p>2 「生命のかて・塩」の要旨をまとめる。</p> <p>(1) 五つの事例を一文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩の働きは二つのまとまりで書かれていたな。体の中での働きと調味料としての働きだ。 <p>(2) 筆者の主張と事例を接続語を使ってつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例が筆者の主張の根拠になるような接続語を使おう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 要旨のまとめ方として、事例と筆者の主張を一文に要約する方法を知らせる。事例と筆者の主張が上手くつながるように接続語などを工夫させる。 前時の学習で事例にまとまりがあったことを想起させることで、キーワードを基に一文にまとめられるようにさせる。 要旨をまとめる活動に慣れさせるため、まず個で要旨を考え、次にペア、そして全体で確認の場を多く設定する(要旨例は、次頁「7 板書計画」参照)。 ◎いくつか接続語を提示し、文と文をつなげるのに適した接続語を考えさせる。
<p>3 塩についての自分の考えと秘密を二つか三つ挙げ、双括型で紹介文を書く。</p> <p>(1) 考えを出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩分を毎日摂ろうと思う。 汗をかく夏には塩分をしっかり摂って健康でいたいと思う。 <p>(2) 紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 双括型だから考えから書くんだな。 自分の考えの根拠となる事例はどれを選べばいいかな。 事例の順番は、身近なものからにしようかな。 教科書と同じで「体の中」のことから書こうかな。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 塩についての考えを全体で交流させることで、友達の意見を参考にして良いことを知らせる。 自分の考えの根拠となる塩の働きを事例から選ばせどの順序で書いたら良いか考えさせる。 ◎友達の意見や根拠を自分の紹介文の参考にして良いことを伝え、書く抵抗を少なくさせる。 紹介文の例文を提示して参考にさせることで 150字程度の意見文の文章量をつかませる。 使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」Aに文章構成は双括型を用いること、文章表現の工夫では事例の並べ方を工夫することを記述させる。また、「マイシート3」Bに双括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させることで紹介文に利用する意識を高めさせ、その後「マイシート3」Cに意見文を書かせる。 自分が事例をどういう順番で並べたかその意図を振

<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な事例から身近な事例の順序で書いた。 ・熱中症にならないようにするために、事例を体の中の働きから調味料の順で書いた。 	<p>5 振り返りでは、「事例を述べる順序でどんな工夫をしたか」について質問し、意図を持って事例が書けたか見取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【読む】 ◇塩の働きについて自分の考えを持っている。 (マイシート3)</p> <p>【書く】 ◇双括型の文章で、事例の並べ方を工夫して書いている。 (学習計画表、マイシート3) ※双括型の文章で、事例を述べる順序に意図を持って書いているならばB評価</p> <p>【言語】 ◇双括型の文章構成や事例、順序を表す言葉などの文章表現を用いて書いている。(マイシート3)</p> </div>
--	---

7 板書計画

<p>6 / 18 木</p>	<p>「生命のかて・塩」 学習のめあて</p>	<p>塩の秘密の紹介文を事例の並べ方を工夫して書く。</p>	<p>要旨―その文章の内容や筆者の考えの中心となることば。</p>	<p>要旨をまとめる手順 ①事例を一文にする。 ②筆者の主張を一文にする。 ③二つの文が上手くつながるように接続語を工夫する。</p>	<p>塩には、体の中での働きや調味料としての働きがある。だから、塩は、人間にとって必要で欠かせないものである。</p>	<p>自分の考えを持つ―要旨を基に自分の考えを持つ。 感想にならないようにする。 文末表現　〜と考えます。〜と思います。 →つながりがある</p>	<p>根拠　なぜなら、〜だからです。</p>	<p>紹介文の例文</p>	<p>私は夏になったら、塩分を摂って健康でいたいと思います。 なぜなら、一つ目に、塩は、決まったこさで血液などに溶け込んで、体の中の水分の量を調整する働きをしているからです。 二つ目に、塩に含まれるナトリウムが筋肉の収縮を助ける働きをしているからです。 私は、暑い夏でも熱中症にならずに元気に運動ができるように塩分を摂りたいと思います。</p>
-----------------	-----------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---	---	---	------------------------	---------------	--

8 マイシートの利用



マイシート3

6 本時の展開 (5 / 9)

(1) ねらい

筆者の主張と事例をまとめることを通して、主張と事例の述べ方の関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師－「東京スカイツリーのひみつ」本文拡大、「マイシート2」の拡大、文章構成の三つの型

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>本時のめあて－事例の述べ方の工夫が分かる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京スカイツリーのひみつ」では事例でどんな工夫をしているかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・事例として何が書かれているかに着目させ、事例の述べ方と主張がどのように関係してくるか考える学習であることを伝える。 ・副教材においても、「マイシート2・3」を用いて学ぶことを伝え、既習事項を生かして積極的に学習する態度を養う。
<p>2 「東京スカイツリーのひみつ」を読んで、文章構成や筆者の主張、事例をまとめる。</p> <p>(1)音読をし、形式段落を確認する。</p> <p>(2)筆者の主張を見付け、文章構成の型を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始めと終わりの内容を調べよう。 ・これも双括型の文章構成だ。 <p>(3)事例をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとの要点をまとめよう。 ・順序を表す言葉もヒントになるな。 ・「問題」ごとのまとまりで事例が書いてあるようだ。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成の型を調べさせるために、筆者の主張が書かれている箇所に線を引かせる。 ・双括型であることを全体で確認した後、筆者の主張を「マイシート2」Aに書いて強調させ、主張と事例の関わりを視覚的に捉えさせる。 ◎副教材の文章構成を捉えやすくするため、文章構成の三つの型を掲示する。 ・順序を表す言葉やキーワードとなる「問題」に着目させて、事例をまとめさせる。 ◎事例をまとめる際に本文をそのまま抜き出してしまわないよう、中心となる文や言葉をつなぎ合わせて要点をまとめていくよう声掛けを行う。
<p>3 事例の並べ方の様子やその効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例は土地の問題から始まっているな。 ・弱い地盤の方がもっと下の問題だよ。 ・どうして地盤からじゃないのかな。 ・地盤の強い建設地にすれば良いのに。 ・そんな広い建設地はなかったんだよ。 ・だからどうしようかって悩んで問題を解決してきたんだと思う。 ・限られたせまい建設地の問題を解決したらまた次の問題を解決して、それを何度も繰り返して解決してきたんだな。 ・あきらめずに努力したんだな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、筆者は三つの問題をこの順番で説明しているのか少人数(3人程度)のグループで話し合わせ、筆者の事例の述べ方の意図に気付かせる。 ・三つの事例のまとまりの順序を変えたらどんな解決策が生まれたか、その解決策が他の二つの問題にまた新たな問題を引き起こさないか考えさせることで事例を述べる際の順序の効果に気付かせる。 ・事例の並べ方を工夫することで、筆者の主張に説得力が出るという効果があることに気付かせる。 ・「マイシート2」Cに事例の述べ方として事例を並べる順序を工夫することとその効果を記述させ、自分の紹介文でも筆者と同じように事例の並べ方を工夫するよう意識させる。

- ・造った人の技術と知恵はすごいな。
- ・複数の事実を述べる順番を工夫することで主張に説得力が出るんだな。

- 4 本時の振り返りをする。
- ・主張に説得力を出すため。
 - ・読み手に主張を納得してもらえようようにするため。

- 5 分
- ・振り返りでは、「なぜ、事例の並べ方を工夫するのか」について質問し、主張と事例の関係についての理解を見取る。

【読む】【書く】

◇事例の述べ方とその効果を主張と関わらせて理解している。(学習計画表・マイシート2)
 ※主張に説得力が出る、読み手に主張を納得させるなどのよさを記述していればB評価

7 板書計画

6 / 19 金

「東京スカイツリーのひみつ」
 学習のめあて
 事例の並べ方の工夫が分かる。

事例をまとめる

建設地の問題
 はばがせまい土地(建設地)
 足もとの柱と柱のきよりが長い方が有利
 三角形の一边の長さは6.8メートル

地ばんの弱さの問題
 やわらかくて弱い地ばん
 かべのようなくい

地しんのゆれのえいきょうをうけやすいという問題
 ゆれを小さくする心柱
 昔の建て方をヒント
 中空の鋼管でできた軽いという体

問題 ←

問題 ←

問題 ←

問題 ←

解決策 ←

解決策 ←

解決策 ←

解決策 ←

8 マイシートの利用

マイシート2

学習のめあて 事例の述べ方の工夫が分かる

―「東京スカイツリーのひみつ」を讀んで、筆者の主張と事例の述べ方の工夫を見付けよう。

姓名	A	B	C
	*	東京スカイツリーには、日本がほこる高い技術力と、人間のちえの結しようともいえるたくさんのひみつがある。	東京スカイツリーには、人間が作り上げたちえの結しようである、たくさんのひみつがつまっている。

事例の工夫とそのよさについてまとめよう。

6 本時の展開 (6 / 9)

(1) ねらい

要旨を基に自分の考えを持ち、東京スカイツリーの秘密を二つ以上挙げて紹介文を書くことができる。

(2) 準備

教師－「マイシート3」の拡大、紹介文の例文、文章構成の型(双括型)、要旨の説明カード

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」、「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－要旨をまとめて自分の考えを持ち、東京スカイツリーの秘密の紹介文を書く。</p> <p>・自分の考えを書くだな。</p>	5分	<p>・自分の考えを持つためには要旨をまとめて筆者の主張を明確に捉える必要があることを伝えることで、本時の学習の見通しを持たせる。</p> <p>◎要旨は事例と筆者の主張を用いて簡単な文章にまとめたものであることを確認させ、既習事項を利用して学べるようにさせる。</p>
<p>2 「東京スカイツリーのひみつ」の要旨をまとめる。</p> <p>(1) 事例を一文にまとめる。</p> <p>・三つの問題と解決策をどうまとめたらいのだろう。文が長くなるな。</p> <p>・「～や、～や、～」という表現を使えば簡単にまとめられるね。</p> <p>(2) 筆者の主張と事例を接続語を使ってつなげ要旨をまとめる。</p> <p>・事例と筆者の主張が上手くつながる接続語は何だろう。</p>	15分	<p>・事例を要約して一文にまとめさせるために、前時の「マイシート2」[B]の記述を参考にさせて書かせる。</p> <p>・三つの問題を並列でまとめる表現方法に気付かせることで、一文で事例をまとめさせる。</p> <p>◎既習の接続語(だから、なぜなら、しかしなど)を想起させることで、文をつなぐ時に利用させる。</p> <p>・要旨が意味の通る文章になっているか確かめさせるため、個でまとめた後にグループで確認させる(要旨例は、次頁「7 板書計画」参照)。</p>
<p>3 東京スカイツリーについての自分の考えと秘密を二つか三つ挙げ、双括型で紹介文を書く。</p> <p>(1) 考えを出し合う。</p> <p>・問題を次々に解決していく日本人の知恵の素晴らしさを伝えたいな。</p> <p>・昔の人の知恵が今でも使えるのがおもしろいな。</p> <p>(2) 文章構成と文章表現を確認する。</p> <p>・双括型と事例の並べ方を意識しよう。</p> <p>(3) 紹介文を書く。</p> <p>・双括型だから考えから書くだな。</p> <p>・要旨について自分がどう思うかを書くん</p>	20分	<p>・要旨を基に自分の考えを全体で交流させることで、友達の見解を参考にしながら紹介文を書いて良いことを知らせる。</p> <p>・自分の考えの根拠となる東京スカイツリーの秘密を事例から選ばせ、どの順序で書いたら良いか考えさせる。</p> <p>・紹介文の例文を提示して参考にさせることで200字程度の紹介文の文章量をつかませる。</p> <p>・使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」[A]に文章構成の工夫は双括型を用いること、文章表現の工夫では事例の並べ方を工夫することを記述させる。また、「マイシート3」[B]に双括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させること</p>

だ。

- 地震に強くするちえに驚いたな。
- 自分の考えの根拠となる事例はどれを選べばいいかな。

4 本時の振り返りをする。

- 筆者の主張と関わらせて自分の考えを書けているから大丈夫だ。
- 要旨と関係ない意見になっているから考え直そう。

で意見文に利用する意識を高めさせ、その後「マイシート3」Cに紹介文を書かせる。

◎書き出せない児童には、伝えたい秘密を選ばせ、なぜその秘密を選んだか理由を言わせることで自分の考えを持たせるようにする。

5 「要旨について自分の考えを持つことができたか」について振り返らせることで、筆者の主張と関連させて自分の考えを持てたかを確認させる。

【読む】

◇要旨を基に自分の考えを持っている。
(マイシート3)

※要旨を基にして自分の考えを書いていればB評価

7 板書計画

6 / 22 月

「東京スカイツリーのひみつ」

学習のめあて

要旨をまとめて自分の考えを持ち、東京スカイツリーのひみつの紹介文を書く。

要旨→その文章の内容や筆者の考えの中心となること

言葉を並べる(〜や〜や〜、〜、〜、〜)

接続語(つなぎ言葉)だから、しかし、けれど、なぜなら、

東京スカイツリーには、せまい建設地の問題、地べんの弱さの問題、地しんのゆれに影響されやすい問題があった。

しかし、

日本がほこる高い技術力と、人間のちえの結しようともいえるたくさんのひみつによって問題を解決し、完成することができたのだ。

要旨について自分の考えを持つ

- 問題を次々に解決していく日本人のちえの素晴らしさを伝えたいと思った。
- 昔の人のちえが今でも使えるのがおもしろいと思った。
- 地震に強くするちえがたくさんあるのに驚いた。

紹介文の例文

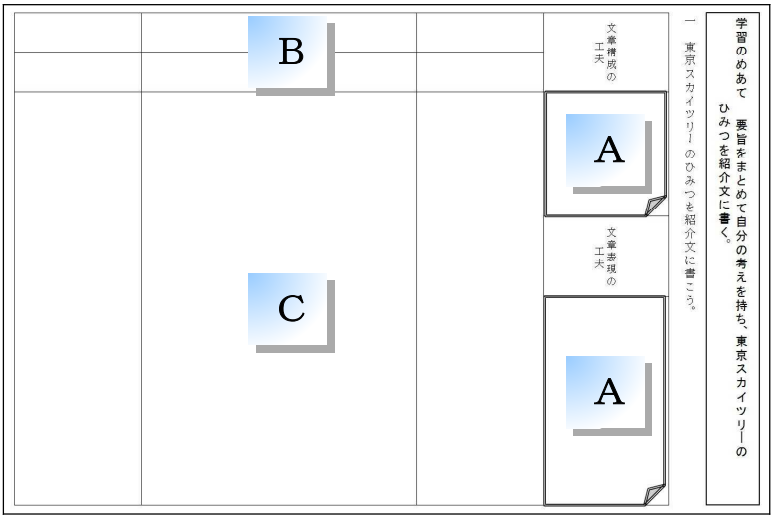
私は、日本人のちえがつまっている東京スカイツリーを世界の人々に見てもらいたいと思いました。

まず、タワーの足もとを正三角形にしてせまい土地でもたおれないようにしています。

次に、地震が起きてもタワーを安定させるため、建物自体を軽くする中空の鋼管を開発して使っています。

私は、高さだけでなく安全のためにちえがつまっている東京スカイツリーを世界の人々にぜひ見てほしいと思いました。

8 マイシートの利用



マイシート3

6 本時の展開 (7/9)

(1) ねらい

要旨を基に自分の考えを持ち、東京スカイツリーの秘密を二つ以上挙げて紹介文を書くことができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「マイシート3」の拡大、紹介文の例文、文章構成の型(双括型)

※教室内掲示－学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－要旨をまとめて自分の考えを持ち、東京スカイツリーの秘密の紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成は双括型を使っているかな。 事例の並べ方にも気を付けよう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題と本時との関連を伝えたり、第1時で書いた身に付けたい力を思い出させたりして、目的意識を持って意見文を書かせる。 事例の並べ方の工夫とその効果を自分が書く紹介文でも利用する学習であることを伝え、学習の見通しを持たせる。
<p>2 東京スカイツリーの秘密についての自分の考えと秘密を二つか三つ挙げ、双括型で紹介文を仕上げる。</p> <p>(1) 紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成や文章表現に気を付けて書こう。 <p>(2) 紹介文を見直し、修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 双括型になっているな。 紹介したい事例を二つ書けたよ。 事例を述べる順序は自分が感動した順にしよう。 事例は時間的な順序で並べよう。 事例は実際に目に見えるものから、見えないものの順で並べよう。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> 「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」や「マイシート3」Aに記述した文章構成の工夫や文章表現の工夫、Bに記述した双括型の文章構成の内容を確認させることで、意識して意見文に利用させる。 ◎学習の見通しを持たせるため、紹介文を書く作業の進捗状況を教師と一緒に確認させる。 自分が事例をどのような順序で並べたかその意図を振り返りで書くことを知らせることで、事例の並べ方に意識を向けさせる。 紹介文を書き終えた児童には、「マイシート3」Aに記述した文章構造の特徴の利用について確認と修正をさせ、利用できたら赤で丸印を付けさせ、より良い文章が書けるようにさせる。
<p>3 グループで紹介文を見直し、助言をし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成や文章表現が正しく使っているかな。 文末表現ができていないな。助言しよう。 どうしてこの事例の順序にしたのかな。聞いてみよう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 少人数(3人程度)のグループで「マイシート3」を交換して意見文を読み合わせ、「マイシート3」Aに記述した文章構造の特徴の利用の確認と助言をさせる。 「マイシート3」Cに書いてある意見文を修正する方法は、直す言葉や文章は消さないで線で見え消しをし、新たな言葉や文章は赤で右側に書くことを知らせ、児童の表現の変容を見取れるようにする。 友達の紹介文に文章構成や文章表現が適切に利用できているかを確認をさせることで、考えが伝わりやすい紹介文の表現について理解を深めさせる。

- 4 本時の振り返りをする。
- ・文章構成を尾括型にすること。
 - ・事実を二つ以上書くこと。
 - ・事実と意見がつながっていること。
 - ・文末表現。意見は「思います。」

- 5 分
- ・振り返りでは、「事例を述べる順序でどんな工夫をしたかについて質問し、意図を持って事例を述べられたかを見取る。

【読む】

◇要旨を基に自分の考えを持っている。

(マイシート3)

※要旨を基にして自分の考えを書いているならばB評価

【書く】

◇双括型の文章で、事例の並べ方を工夫して書いている。

(学習計画表、マイシート3)

※双括型の文章で、事例を述べる順序に意図を持って書いているならばB評価

【言語】

◇双括型の文章構成や事例、順序を表す言葉などの文章表現を用いて書いている。(マイシート3)

7 板書計画

<p>6 / 23 火</p> <p>「東京スカイツリーのひみつ」</p> <p>学習課題</p> <p>ひみつを伝える紹介文を書こう</p> <p>―事例の並べ方を工夫して、自分の考えを書く―</p>	<p>学習のめあて</p> <p>要旨をまとめて自分の考えを持ち、東京スカイツリーのひみつの紹介文を書く。</p>	<p>要旨</p> <p>東京スカイツリーには、せまい建設地の問題、地盤の弱さの問題、地しんのゆれに影響されやすい問題があった。</p> <p>しかし、日本がほこる高い技術力と、人間のちえの結しようともいえるたくさんのひみつによって問題を解決し、完成することができたのだ。</p>	<p>紹介文の例文</p> <p>私は、日本人のちえが詰まっている東京スカイツリーを世界の人々に見てもらいたいと思いました。まず、タワーの足もとを正三角形にしてせまい土地でもたおれないようにしています。</p> <p>次に、地震が起きてもタワーを安定させるため、建物自体を軽くする中空の鋼管を開発して使っています。</p> <p>私は、高さだけでなく安全のためにちえが詰まっている東京スカイツリーを世界の人々にぜひ見てほしいと思いました。</p>	<p>事例を述べる順序の工夫(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が感動した順 ・時間的な順序 ・目に見えるものから、見えないものの順 ・技術的なものから精神的なもの順
--	--	---	--	--

8 マイシートの利用

	B			
		A	A	<p>学習のめあて 要旨をまとめて自分の考えを持ち、東京スカイツリーのひみつを紹介文に書く</p> <p>―東京スカイツリーのひみつを紹介文に書く―</p>
	C			

マイシート3

6 本時の展開 (8/9)

(1) ねらい

友達や教師からの助言を基に紹介文を修正することを通して、事例の述べ方を工夫した紹介文を書くことができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「マイシート3」の拡大、紹介文の例文

※教室内掲示－学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用紙

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>本時のめあて－助言を基に修正し、分かりやすい紹介文にする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな助言をもらったかな。 ・助言を参考に直して考えの伝わる紹介文にしよう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は助言を基に紹介文を修正した後に清書を行うことを伝えることで、見通しを持って意欲的に学べるようにさせる。 ・文章構成が整い、事例の述べ方が工夫されている紹介文になるように、教師からの助言も「マイシート3」に適宜記入しておく。
<p>2 助言を基にして、文章を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双括型については助言はないな。 ・文末表現を工夫すればいいんだな。 ・事例の順序を変えた方がいいかな。 ・順序を表す言葉を使おう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・修正の方法として、直す言葉や文章は消さずに線を引いて見え消しを使い、新たな言葉や文章は赤で右側に書くことを知らせ、児童の表現の変容を見取れるようにする。 ・助言で書かれた内容を参考にしながら、文章構成や文章表現が適切に利用できているか各自で再確認させ、意見が伝わりやすい文章に修正させる。
<p>3 紹介文を清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成は双括型。 ・根拠は事実を二つ書く。 ・根拠と事実はつながりを持たせる。 ・文末表現に気を付ける。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・清書用紙(次頁「9 その他」参照)にも、「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の枠を設け、使いたい文章構造の特徴を記述させることで、清書でも意識して書けるようにさせる。 ◎紹介文を努力して作成してきたことを認め、清書にも意欲を持たせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に気を付けること。 ・事例を述べる順序を工夫すること。 ・事例と意見がつながっていること。 ・順序を表す言葉や文末表現に気を付けること。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「分かりやすい紹介文にするために気を付けたこと」について書かせたり、清書用紙の「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の文章構造が利用できたか丸印を付けさせたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>◇要旨を基に自分の考えを持っている。 (マイシート3)</p> <p>※要旨を基にして自分の考えを書いているならばB評価</p> <p>【書く】</p> <p>◇双括型の文章で、事例の並べ方を工夫して書いて</p> </div>

いる。(学習計画表、マイシート3)
 ※双括型の文章で、事例を述べる順序に意図を持って書いていればB評価

【言語】

◇双括型の文章構成や事例、順序を表す言葉などの文章表現を用いて書いている。(マイシート3)

7 板書計画

<p>6 / 24 水</p> <p>「東京スカイツリーのひみつ」</p> <p>学習課題</p> <p>ひみつを伝える紹介文を書こう</p> <p>―事例の並べ方を工夫して、自分の考えを書く―</p>	<p>学習のめあて</p> <p>助言を基に修正し、分かりやすい紹介文にする。</p>	<p>要旨</p> <p>東京スカイツリーには、せまい建設地の問題、地ばんの弱さの問題、地しんのゆれに影響されやすい問題があった。</p> <p>しかし、日本がほこる高い技術力と、人間のちえの結しようともいえるたぐさんのひみつによって問題を解決し、完成することができたのだ。</p>	<p>紹介文の例文</p> <p>私は、日本人のちえがつまっている東京スカイツリーを世界の人々に見てもらいたいと思いました。まず、タワーの足もとを正三角形にしてせまい土地でもたおれないようにしています。</p> <p>次に、地震が起きてもタワーを安定させるため、建物自体を軽くする中空の鋼管を開発して使っています。</p> <p>私は、高さだけでなく安全のためにちえがつまっている東京スカイツリーを世界の人々にぜひ見てほしいと思いました。</p>	<p>事例を述べる順序の工夫(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が感動した順 ・時間的な順序 ・目に見えるものから、見えないものの順 ・技術的なものから精神的なものの順
--	--	--	--	---

8 マイシートの利用

第7時と同様

9 その他

・清書用紙

<p>文章構成の工夫</p> <p>文章表現の工夫</p>	<p>学習のめあて 助言を基に修正し、分かりやすい紹介文にする。</p> <p>―東京スカイツリーのひみつも紹介文に書こう―</p>
-------------------------------	--

6 本時の展開 (9 / 9)

(1) ねらい

紹介文を発表したり聞いたりすることを通して、事例の述べ方の工夫について理解することができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」、グループ編成表

※教室内掲示－学習計画表

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用紙、チェックポイントの表

(3) マイシート

なし

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－紹介文の発表を聞いて、友達の考えや事例の述べ方の工夫が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達はどんな紹介文を書いたのかな。 ・事例の順序をどう工夫したかな。 ・要旨について考えが書けているかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文の発表を行うことで、考えを分かりやすく伝えるのに必要な力を振り返ったり、自分や友達にその力が付いたか確かめたりさせる。 ・チェックポイントの表(次頁「9 その他」参照)を用いて評価と感想を書くことを伝えることで、観点を持って友達の紹介文が聞けるようにさせる。 <p>◎学習を積み重ねて書いてきた紹介文であり、自信を持って発表するように励ます。</p>
<p>2 グループに分かれ、紹介文を発表したり、評価したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双括型で考えがはっきり分かった。 ・根拠と意見がちゃんとつながっている。 ・自分の意見と違うな。 ・意見は同じなのに根拠が違うな。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数(5人程度)のグループで、清書用紙に書いた意見文を順番に発表させる。できるだけ考えなどが異なる紹介文の児童が集まるように教師が意図的にグループを編成し、多様な考え方に気付かせる。 ・発表と評価は全グループ同時進行にし、児童が集中して聞いたり評価したりできるようにする。 ・チェックポイントの書かれた表を配布し、評価と感想を書かせる。 <p>【チェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①双括型により考えが伝わったか。 ②事例の述べ方の順序が工夫されていたか。 ③順序を表す言葉が使われていたか。 <p>◎発表する態度や声の大きさも大切であることを伝え、意見文をしっかり読むように指導する。</p>
<p>3 全体に意見文を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントの全てが丸だな。 ・あんな意見文が書きたいな。 ・根拠と意見のつながりがいいな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構造の特徴を利用でき、意見と根拠のつながりが良い意見文を書いた児童を数名指名し発表させることで、分かりやすい意見文にするために、文章構成を整え、根拠を基に意見を持つことの大切さを全体で再確認させる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を考える力が身に付いた。 ・根拠を基に意見を持つ力が付いた。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「分かりやすく伝えるため身に付けたい力」を振り返り、学習課題の解決を通して身に付けた力について記述させる。

・文末表現を工夫する力が付いた。

【書くこと】

◇分かりやすい意見文を書くために必要な力を理解している。(チェックポイントの表学習計画表)
 ※「分かりやすく伝えるため身に付けたい力」について身に付いた力を書いていれば B 評価

7 板書計画

グループ1	グループ2	グループ3	グループ編成表	分かりやすく伝えるために身に付けたい力 ・文章構成(文章の組み立て)を理解する力 ・筆者の主張(考え)を見付ける力 ・要旨をまとめる力 ・要旨を基に自分の考えを持つ力 ・事例の述べ方を工夫する力 ・文章構成や表現の工夫を考えて書く力	学習のめあて 紹介文の発表を聞いて、友達の考えや事例の述べ方の工夫が分かる。	学習課題 ひみつを伝える紹介文を書こう ↓事例の並べ方を工夫して、自分の考えを書こう	6 / 25 木
-------	-------	-------	---------	--	--	---	----------

8 マイシートの利用

本時はなし

9 その他

・チェックポイントの表

感想 よかったことを 一言で書こう。	③ 順序を表す言葉が使われていたか。	② 事例の述べ方の順序が工夫されていたか。	① 双括型により考えが伝わったか。	チェックポイント ◎とてもよい ○よい △もう少し	友達の名前
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		

学習のめあて 紹介文の発表を聞いて、友達の考えや事例の述べ方の工夫が分かる

国語科学習指導案(5年〇組)

- 1 単元名 根拠を持って、自分の考えを伝えよう
ー文章構造の特徴を生かし、筆者の主張と根拠を確かめながら読んだり、自分の考えを書いたりするー
教材名 「オーディエンス」「メディア・リテラシー入門」

2 考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「C読むこと」の「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んだりすること」と、「B書くこと」の「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」を受け、二つの領域の指導事項を関連付けた単元として設定するものである。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」との関わりでは、「イ(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」を指導する。

本単元を貫く言語活動として、友達や家人に対して「情報との関わり方について自分の意見を発表しよう」を位置付ける。これは、「C読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する」と、「B書くこと」の言語活動例「イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりする」の言語活動を受けたものである。主教材「オーディエンス」は、情報を提供する立場の考え方について、副教材「メディア・リテラシー入門」は、情報の受け取り手が身に付けるべき力について述べられている。文中では共に、テレビ、新聞、インターネットなど、高学年の児童が利用した経験があるメディアを取り上げており、自分の経験と関連させやすい内容である。言語活動を行うに当たり、児童に、情報との関わり方について自分の意見を持たせるのに適した教材文と言える。

二つの教材文は、話題提示となる「始め」、事例を挙げている「中」、筆者の主張が述べられている「終わり」の、尾括型の文章構成になっている。また、どちらも、筆者の主張の根拠となる具体的な事実が「中」で述べられているのが特徴である。そのため、教材文の読み取りでは、事例でどのような内容を取り上げて、どのような主張に結び付けているかを理解させ、主張と根拠を関連させる大切さに気付かせる。そして、情報との関わり方についての自分の意見を、児童の経験を基にした事実を根拠として取り上げて文章に表すことができるようにさせる。また、主教材「オーディエンス」では冒頭で問いかけの文を重ね、読み手に具体的な事柄を想起させ、内容に関心を持たせるような文章表現の工夫をしている。尾括型の文章構成、主張と具体的な事実に基づいた根拠、読み手に関心を持たせる冒頭の文章表現の工夫を、児童が明確に自分の意見を表現するための文章構造の特徴として理解させ、自らの表現に活用できるようにさせたいと考える。

これら二つの教材文を扱った学習を通して、既習の文章構造の特徴を基にして説明的な文章の内容を読んだり、学んだ文章構造の特徴をすぐに生かして自分の考えを表現すれば明確な表現になることを書く活動を通して理解したりすることで、児童が自分の考えを明確に表現する力を高められると考え、本単元を設定した。

(2) 指導方針

- ・単元を貫く言語活動として、「情報との関わり方について自分の意見を発表しよう」を位置付ける。単元の導入で児童が日常生活で情報とどのように関わっているか想起させ、情報との関わりに課題意識を持たせる。そのために、メディアとの関わりや体験などについての話をする交流の場を単元の導入段階で設定する。
- ・本単元では、尾括型の文章構成、根拠、根拠と主張との関わりについて重点的に指導を行う。既習事項では、文章構成の三つの型の利用、要旨の読み取り、文の性質を読み取る文末表現の利用などを行う。そのため、既習事項の実態を把握し、状況に応じて児童がそれらを想起できるよう振り返り

の活動を取り入れる。

3 研究とのかかわり

本単元では、まず、文章構造の特徴の一つである文章構成を捉えさせ、すぐに自分の考えの表現にそれを使って意見文を書く試行させるワークシート「マイシート1」を用いる。これは、児童に、説明的な文章では筆者が主張を伝えるために文章構成を意図的に工夫していることを理解させること、自分の考えを書く場合にもその文章構成を利用すれば考えが伝わりやすい文章になることを理解させるためである。

次に、主教材及び副教材を使って身に付けさせたい文章構造の特徴とその効果を理解させるワークシート「マイシート2」を用いる。本単元では、事例の述べ方の工夫として、事実に基づいて説明される根拠に着目させる。主教材では、自分の体験や実際にあった出来事を述べるのが根拠となり、根拠を述べることで主張に説得力が出る効果を捉えさせる。副教材では、いくつかの根拠を述べ、それらに共通する事実を接続語「つまり」でまとめる文章を書くことで、主張に説得力が増すことに気付かせる。

そして、理解した文章構造の特徴を利用して自分の考えを意見文に書かせるワークシート「マイシート3」を用いる。児童に、「マイシート1・2」で学んだ文章構成や根拠、主張と根拠の関わりについてもう一度振り返ってシート上に記述させ、書く際に利用する意識を高めてから意見文を書かせる。意見文を書いた後は、記述した文章構造の特徴が適切に利用できたか自他による評価活動をさせ、自分の考えを明確に表現できるようにさせる。

4 単元の目標

文章構造の特徴を生かし、筆者の主張と事例の関わり方を確かめながら読んだり、根拠を持って自分の考えを書いたりすることができる。

5 指導計画（全9時間予定）

評価 規 準	国語への 関心・意欲・態度	情報との関わり方についての自分の意見を伝えるために、説明的な文章を筆者の主張と事例との関わり方に着目しながら読んだり、根拠を持って自分の考えを書いたりしようとしている。		
	書く能力	主張の伝わりやすい文章にするために、尾括型の文章構成や根拠、冒頭の問いかけの文章などの表現の効果を理解し、自分の考えを伝える文章に用いている。		
	読む能力	筆者の主張に対する自分の意見を持つために、文章構成を捉えて筆者の主張を読み取ったり、主張と事例との関わり方を確かめながら読んだりしている。		
	言語についての 知識・理解・技能	尾括型の文章構成や根拠、問いかけ文などの文章表現の効果を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。		
時 間	過 程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	課 題 把 握	○語句の意味の理解	○体験から課題を見付ける力 ○学習課題から学習の見通しを持つ力	○日常生活の経験を基にして学習課題を設定する。 ○学習の見通しを持つ。 ○主教材「オーディエンス」を読む。
第2時	課 題 追 究	○文章構成の知識 ○文末表現で文の性質を見分ける知識 ○見出し（小見出し）の知識	○主張と事例を区別し、文章構成を捉える力	○主教材の文章構成を捉え、小見出しを付ける。 ○尾括型の文章構成を使って身近な話題で意見文を書く。 マイシート1
第3時		○要点・要約の知識	○中心となる語や文を手掛かりに文章を	○主教材の筆者の主張を捉える。 ○主張の根拠となる事例をまとめる。

		読み、要点や要約をまとめる力	○筆者の主張と事例との関わりについて考える。 マイシート2
第4時	○要旨の知識 ○事例の知識	○要旨をまとめる力 ○主張とその根拠となる事例を関連させる力	○主教材の要旨をまとめる。 ○要旨を基に自分の考えを持つ。 ○自分の考えの根拠となる事例を考え、意見文を書く。 マイシート3
第5時	○接続語の知識 ○中心となる語や文の知識 ○要点の知識 ○事例の知識	○接続語や中心となる語や文を手掛かりに要点をまとめる力	○副教材「メディア・リテラシー入門」を読み、筆者の主張を捉える。 ○接続語や中心となる言葉を手掛かりに事例の要点をまとめる。 ○筆者の主張と事例との関わりについて考える。 マイシート2
第6時	○要旨の知識 ○事例の知識	○要旨をまとめ、自分の意見を持つ力 ○意見とその根拠となる事例を関連付ける力	○副教材の要旨をまとめる。 ○要旨を基に自分の意見を持つ。 ○自分の考えの根拠となる事例を考える。 マイシート2 マイシート3
第7時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○意見文を書くための文章構成や文章表現の工夫を考える。 ○友達と文章構成や文章表現について助言し合う。 マイシート3
第8時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○助言を基にして文章構成や文章表現を確かめながら意見文を書く。 マイシート3
第9時	まとめ ○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○主張と根拠を捉える力	○情報との関わり方について自分の意見文を発表する。 ○友達の意見文の評価を行う。

6 本時の展開 (1 / 9)

(1) ねらい

学習課題解決に向けて身に付けたい力を知ることを通して、学習の見通しを持つことができる。

(2) 準備

教師－学習計画表、コマーシャルやニュースの画像、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」の掲示物

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

なし

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 テレビのコマーシャルやニュースを見た経験を思い出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お菓子のコマーシャルを見た。 ・コマーシャルは番組の途中や番組と番組の間に流れる。 ・コマーシャルを見て買いたくなかった。 ・買って失敗したものもあるよ。 ・ニュースは事件や事故、スポーツ、天気、緊急地震速報など、様々な内容がある。 ・情報があると便利だな。 ・テレビでなくてもコマーシャルやニュースなどの情報が得られる。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビのコマーシャルとニュースに絞り、見た経験を語らせ、共通の話題で考えることで学習意欲を高めさせる。 ・コマーシャルやニュースの内容、放送される時間帯、目的について質問し、教材文との関連を図る。 ・コマーシャルやニュースの利便さや危険性を日常の経験から想起させ、学習課題に結び付けさせる。 ・テレビ以外の媒体にも言及し、様々な媒体を用いて情報が提供されていることに気付かせる。 <p>◎学習への興味を喚起するために、コマーシャルやニュースの画像を提示し、見た経験や知っていることを発表させる。</p>
<p>2 学習課題から身に付けたい力を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習課題－「情報との関わり方について自分の意見を発表しよう－根拠を持って、自分の意見を書く－」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・情報について詳しく知りたいな。 ・根拠を持つってどういうことかな。 ・上手く意見文が書けるかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの媒体から様々な情報を受け取ることができる今、情報との関わり方について考える必要があるという意識を持たせてから学習課題を提示し、学習意欲が持続するようにさせる。 ・本単元での学習の目的を持たせるため、学習課題を解決するために自分に必要な「身に付けたい力」を捉えさせる(次頁「7 板書計画」参照)。
<p>3 学習計画表を基に学習の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>本時のめあて－学習課題から、学習計画を立てる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて学習を頑張ろう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の見通しを持たせるために、学習計画表に学習のめあてを児童に記入させる。また、毎時間の学習の終わりに分かったことなどを書かせ、学習の振り返りをさせる。
<p>4 主教材「オーディエンス」を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーディエンスって何だろう。 ・オーディエンスは見てくれる人のことか。 ・情報の送り手は、オーディエンスがほしい情報を伝えようと考えている。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の読みや語句の意味調べを確認させる。 ・初発の読みの観点として「情報の送り手はどんなことを考えているか」を伝え、内容の把握への意識を持たせる。

- 5 本時の振り返りをする。
- 文章構成に気を付けて意見文を書けるようにしたい。
 - 筆者の主張を基に自分の意見を持てるようにしたい。
 - 根拠を基に意見が持てるようにしたい。

5 分

- 振り返りには「課題解決に向けてこれからの学習で身に付けたい力」についてを書かせ、意欲を見取る。

【 関心・意欲・態度 】

◇学習課題の解決に向けて、意見を伝えるために身に付けたい力を書いている。 (学習計画表)

※「分かりやすく伝えるため身に付けたい力」の中から選んで書いていけば B 評価

7 板書計画

学習計画表

本時のめあて

学習課題から、学習計画を立てる。

学習課題

情報との関わり方について自分の意見を発表しよう！

― 根拠を持って、自分の意見を書け！ ―

ニュースの画像

コマーシャルの画像

その他のメディア

ラジオ・新聞・インターネット

テレビ

国内・海外
事件・事故
スポーツ・芸能
天気・政治
緊急速報

10 / 13 (火)

「オーディエンス」
「メディア・リテラシー入門」

食品・自動車
ゲームソフト
薬・お酒
番組の途中
買ってもらうため
買いたくなった

8 マイシートの利用

本時はなし

9 その他

- 学習計画表

9時	8時	7時	6時	5時	4時	3時	2時	1時	
10/26	10/23	10/22	10/21	10/20	10/19	10/16	10/14	10/13	
を差支える	を書く	自分の考えを書く を持つて	を持つて	の工が分かる をまとめ、	を持つて	の工が分かる	が分かる	を立てる	を知る
									学習計画
									振り返り
									先生り

◇ 根拠を持って、自分の考えを伝えよう！ 「オーディエンス」 「メディア・リテラシー入門」 1

学習のめあて 学習課題から学習計画を立てる。

五年 番氏名 ()

- 資料26 -

6 本時の展開 (2 / 9)

(1) ねらい

文章構成を調べたり、尾括型で文章を書いたりすることを通して、尾括型の文章構成を理解することができる。

(2) 準備

教師－文章構成の三つの型(尾括型・頭括型・双括型)、「オーディエンス」本文拡大、
「マイシート1」の拡大、意見文の例文、
※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」
児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート1」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文の文章構成が分かる。</p> <p>・主張の書かれている段落がどこにあるかで型が決まってくる。</p>	5分	<p>・既習の三つの文章構成の型を提示してそれぞれの型の内容を想起させ、利用できるようにさせる。</p> <p>・文章構成の型を調べるために、筆者の主張が書かれている段落を調べれば良いという見通しを持たせる。</p> <p>◎1学期に学んだ三つの文章構成について掲示物を見せて想起させ、学習で利用できるようにさせる。</p>
<p>2 主教材「オーディエンス」を読み、文章構成を調べ、小見出しを付ける。</p> <p>(1)音読後、形式段落を確認する。</p> <p>(2)筆者の主張を見付けて確認する。</p> <p>・筆者の主張は終わりの部分だろう。</p> <p>・文末表現で分かる。問いかけの文があるから始めは話題提示だ。</p> <p>(3)意味段落に分け、小見出しを考え、文章構成を理解する。</p> <p>・コマーシャルと番組という言葉がたくさん使われている。</p> <p>・題名のオーディエンスの説明がある。</p> <p>・インターネットのオーディエンスはテレビとはちょっと違うようだ。</p> <p>・「個人」と「集団」は意味が対の言葉だ。</p>	15分	<p>◎拡大した全文の掲示物で形式段落番号を確認させ、段落ごとの内容の読み取りができるようにさせる。</p> <p>・自力解決を促すため、個で筆者の主張が書かれている所に線を引かせてから全体で確認させる。</p> <p>・主張以外の段落には何が書かれているか考えさせる。</p> <p>・文章全体の構成を捉えさせるため、意味段落ごとに小見出しを考えさせ、「マイシート1」Aに記入させる(次頁「7 板書計画」中の小見出し参照)。</p> <p>・小見出しの内容から、尾括型の文章構成であることや尾括型の文章構成の特徴を考えさせ、「マイシート1」Bに記入させる。</p> <p>◎小見出しのまとめ方を想起させるため、中心となる語や文を見付けることや、全員が同じ言葉や文にならなくても良いことを知らせる。</p>
<p>3 尾括型の文章構成を使って、身近な話題で意見文を書く。</p> <p>(1)意見文の例文を読んで、構成や文末表現を確認する。</p> <p>・始めの段落は問いかけの文だ。</p> <p>・自分の意見は体験から考えたことや人に伝えたいことを書く。</p> <p>(2)意見文を書く。</p> <p>・どちらの話題にしようか。</p>	20分	<p>・児童が意見を持ちやすい身近な話題(「シャープペンシルの利用について」「けいたい電話の利用について」)を提示し、100字程度の意見文を書かせる。</p> <p>・「マイシート1」Cの枠を利用した例文を提示し、枠ごとに書かれている内容や文末表現を確認させる。</p> <p>・話題提示は問いかけ文、意見の文末表現は「～と思います」を使うことを知らせる。</p> <p>・尾括型で意見文を書かせるため、書き終えた児童にはペアで意見文を発表させ、意見が終わりまで述べら</p>

- ・携帯電話でゲームをしたことがある。
 - ・携帯電話で怖い思いをしたことがある。
- 4 本時の振り返りをする。
- ・話題提示→事例→主張の順で段落を構成すること。
 - ・筆者の主張が終わりに書かれている。

- れているか確認させる。
- ◎シャープペンシルと携帯電話のどちらか使った経験や感想を話させ、意見文が書けるようにさせる。
- 5 振り返りでは、「尾括型の文章構成で分かったこと」を書かせ、理解の様子を見取る。
- 【読む】

◇尾括型の文章構成を理解している。(学習計画表)

【書く】

◇尾括型の文章構成で意見文を書いている。

(マイシート1)

※話題提示→事例→主張の順で文章が書けていればB評価

7 板書計画

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">終り</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">中</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">始め</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">話題</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主張</td> <td style="text-align: center;">事例</td> <td style="text-align: center;">提示</td> <td style="text-align: center;">話題</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">筆者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	終り	中	始め	話題	主張	事例	提示	話題	筆者				<p>尾括型の意見文の例文</p> <p>「けいたい電話の利用について」</p> <p>みなさんは、けいたい電話は便利だから使いたいと思ったことはありませんか。</p> <p>私は、前に姉のけいたい電話を使ったことがあります。電話をかけたけれど、どこかのボタンをおしたら良いか分からず、結局、自分一人では使えませんでした。</p> <p>私は、けいたい電話は、操作の仕方を知り知ってから使わないといけないと思います。</p>	<p>文章構成の特徴</p> <p>尾括型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張が終わりに書かれている。 ・「話題提示→事例→筆者の主張」の順で書かれている。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">終り</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">中</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">始め</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">文章構成</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">主張</td> <td style="text-align: center;">事例</td> <td style="text-align: center;">示</td> <td style="text-align: center;">話題提</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">筆者の</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>小見出し</p> <p>番組とコマージュ</p> <p>オーディエンスを分析した情報の提供</p> <p>「個人」と「集団」としてのオーディエンスがある</p>	終り	中	始め	文章構成	主張	事例	示	話題提	筆者の				<p>10 / 14 (水) 「オーディエンス」</p> <p>本時のめあて</p> <p>意見文の文章構成が分かる。</p> <p>文章構成</p> <p>尾括型</p> <p>頭括型</p> <p>双括型</p>
終り	中	始め	話題																									
主張	事例	提示	話題																									
筆者																												
終り	中	始め	文章構成																									
主張	事例	示	話題提																									
筆者の																												

8 マイシートの利用

C	A	B	

学習のめあて 意見文の文章構成が分かる

一 「オーディエンス」の文章構成を表にまとめよう。

文章構成

小見出し

文章構成の特ちょう

マイシート1

6 本時の展開 (3/9)

(1) ねらい

筆者の主張と事例をまとめることを通して、主張と根拠との関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師－「オーディエンス」本文拡大、「マイシート2」の拡大、意見文の例文、CDのジャケット、
 コマーシャル・インターネットのサイトの画像、雑誌、前時に書いた児童の意見文

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－事例の工夫が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の並べ方の工夫で読み手に主張を納得させていた文章があった。 ・他にも事例の述べ方の工夫があるのか。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・事例として何が書かれているかに着目させ、事例の内容が主張とどのように関係してくるか考える学習であることを伝える。 ◎事例は「中」の段落で述べられていることを確認させ、読み取る文章の範囲に気付かせる。
<p>2 「オーディエンス」の筆者の主張と事例を読み取る。</p> <p>(1)筆者の主張を書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥段落全てが筆者の主張だ。 <p>(2)「個人」と「集団」としてのオーディエンスの説明が書かれている事例をまとめ、根拠について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・③・④段落が「個人」で、⑤段落が「集団」としてのオーディエンスの事例だ。 ・「個人」としてのオーディエンスの事例は身近で分かりやすい。 ・「集団」としてのオーディエンスはサイトの画像を見て事実だと分かった。 <p>(3)主張と根拠の関係について考え、根拠について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を取り上げて説明すると、主張に納得する。 ・事実を取り上げて説明すると、主張に説得力が増す。 ・自分の体験したことや実際に起きたことを根拠として書けば良い。 	35分	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張を「マイシート2」Aに書いて強調させ、主張と事例の関わりを視覚的に捉えさせる。 ・「個人」と「集団」の対義語に着目させ、それぞれの事例の内容を「マイシート2」Bに書かせる。根拠(事実に基づいた説明)に気付かせるようにまとめていく。 ・児童に自分の体験を想起させたり、実物や画像を見せたりして、どちらも筆者が事実を基に説明していることを理解させる。 ◎実物や画像写真を見せることで、事例として書かれている文章の内容理解を助ける。 ・事例で根拠を述べる効果について考えさせることで、主張に説得力が増すことを理解させる。 ・前時に児童が書いた意見文を使って、事例で根拠が述べられていたかを振り返らせる。根拠を述べるとはどのようなことか具体的に理解させるため、自分が体験したことや見聞きしたこと、実際に起こった出来事が書かれている参考となる児童の意見文を紹介する。 ・「マイシート2」Cに主張と根拠の関係について記述させ、自分の意見文でも筆者と同じように自分の生活体験から根拠を述べる大切さに気付かせる。
<p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実によって主張が分かりやすくなるから。 ・事実は主張に説得力を持たせるから。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「事例で根拠を述べるのはなぜか」について質問し、根拠と主張の関係の理解の様子を見取る。

・ 事実は本当にあったことで、みんなが主張に納得してくれるから。

【読む】【書く】

◇ 事実に基づく根拠を述べる効果を主張と関わらせて理解している。（学習計画表・マイシート2）
 ※ 主張に説得力が増す・読み手に主張を納得させるなど記述していればB評価

7 板書計画

根拠ー事実を基に説明している事例
 文末が「です」「ます」
 自分の体験・見聞きしたこと・実際に起きた出来事
 ←

○ 筆者の主張が分かりやすい
 ○ 主張に説得力が増す
 ○ 主張に納得してもらえる

筆者の主張ー「オーディエンス」とは、伝える相手・とらえるときにも役立つ考え方である。

③ テレビコマーシャル
 「個人」としてのオーディエンス
 分析
 テレビ番組
 何才・性別・時間

④ CDのジャケット
 雑誌
 ラジオ番組
 関心・伝え方の工夫

⑤ インターネットのファンサイト
 「集団」としてのオーディエンス
 研究
 つながりたい
 連帯感・一体感

始まり「個人」と「集団」としてのオーディエンス

本時のめあて
 事例の工夫が分かる。

10 / 16 (金) 「オーディエンス」

事例の並べ方 ↓ 読み手の興味をひく
 ↓ 筆者の主張がはつきりする
 ↓ 主張に納得してもらえる

8 マイシートの利用

<p>筆者の主張</p> <p>事例の工夫とそのよさについてまとめよう。</p>	<p>A</p> <p>中</p> <p>事例</p> <p>B</p>	<p>学習のめあて 事例の工夫が分かる。</p> <p>「オーディエンス」を読んで、筆者の主張と事例の工夫を見つけよう。</p>
<p>終わりの主張</p> <p>筆者の「個人」と「集団」としてのオーディエンス</p>		<p>始めの主張</p> <p>番組とコマーシャル</p>

マイシート2

6 本時の展開 (4 / 9)

(1) ねらい

要旨をまとめて内容を把握することを通して、根拠となる事実を基に自分の意見を考えて書くことができる。

(2) 準備

教師－「マイシート3」の拡大、意見文の例文、文章構成の型(尾括型)、要旨の説明カード

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－コマーシャルについて根拠を持って自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要旨とは、その文章の内容や筆者の考えの中心となる事柄だったな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持つためには要旨をまとめて筆者の主張を明確に捉える必要があることを伝えることで、本時の学習の見通しを持たせる。 児童が自力で要旨がまとめられるように、事例と筆者の主張を一文ずつに要約し、それらを接続語でつなぐ方法を示す。
<p>2 「オーディエンス」の要旨をまとめる。</p> <p>(1)二つの事例を一文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を提供する人は、個人や集団のオーディエンスを分析し、関心を持ちそうな内容や伝え方を工夫している。 <p>(2)筆者の主張と事例を接続語を使ってつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例は、筆者の主張の根拠になっているから、「なぜなら」がいいかな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 「情報を提供する人」を主語に事例をまとめさせることで、情報を提供する人々がオーディエンスをどのように捉えているか理解できるようにさせる。 要旨をまとめる活動に慣れさせるため、まず個で要旨を考え、次にペア、そして全体で確認の場を多く設定する(要旨例は、次頁「7 板書計画」参照)。
<p>3 「オーディエンス」の要旨から、コマーシャルについての自分の意見を持ち、尾括型で意見文を書く。</p> <p>(1)意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> コマーシャルを見て買ったことがある。 コマーシャルの情報は便利だ。 情報に振り回されないようにしたい。 <p>(2)意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 話題提示の文は問いかけ文だったな。 事実には、自分が体験したことや実際に起きた出来事を書けば良い。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> コマーシャルについてオーディエンスの立場で意見を持たせることで、自分の体験を根拠とした意見を持ちやすくさせる。 ◎友達の意見や根拠を自分の意見文の参考にして良いことを伝え、意見を持ちやすくさせる。 意見文の例文を提示して参考にさせることで100字程度の意見文の文章量をつかませる。 使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」Aに文章構成の工夫は尾括型を用いること、文章表現の工夫では根拠を述べることを記述させる。また、「マイシート3」Bに尾括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させることで意見文に利用する意識を高めさせ、その後「マイシート3」Cに意見文を書かせる。 意見の根拠を書かせるため、書き終えた児童にはペアで相手の意見文を読ませて、根拠が述べられているか確認させる。

- 4 本時の振り返りをする。
- ・自分の体験を基に根拠が書けた。
 - ・根拠を思い出して書いて良かった。

5 分

- ・「意見の根拠を書くことができたか」自己評価させ、根拠が意見文に書かれているか再度確認させる。

【読む】
◇コマーシャルについて、自分の意見を持っている。
(マイシート3)

【書く】
◇尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実を書いている。
(マイシート3)
※尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実が一つ書いていればB評価

【言語】
◇尾括型の文章構成や根拠、問いかけの文章などの文章表現を用いて書いている。(マイシート3)

7 板書計画

10 / 19 (月)

「オーディエンス」

本時のめあて
コマーシャルについて根拠を持って自分の考えを書く。

要旨ーその文章の内容や筆者の考えの中心となることば。

情報を提供する人は、個人や集団のオーディエンスを分析し、関心を持ちそうな内容や伝え方を工夫している。

なぜなら、

オーディエンスとは、「個人」としてとらえるだけでなく、「社会を構成している、さまざまな希望や関心を持つ人々の集団」としてとらえるときにも役立つ考え方であるからだ。

文章構成の工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 終わり 意見	文章表現の工夫	話題提示は問いかけの文 〴〵か。 文末表現 〴〵です。 事実 〴〵します。 意見 〴〵思います。
---------	--------------------------------------	---------	---

みなさんは、コマーシャルを見てチョコレートを買いたくなかったことはありませんか。

実は、わたしは、チョコレートが好きなので、すぐに新しい商品を買ってしまいます。家には食べきれないほどチョコレートがたまっています。

これからは、コマーシャルで新発売のチョコレートが流れても、すぐには買わず、よく考えて買いたいと思います。

8 マイシートの利用

	B		
	C		

文章構成の工夫

A

文章表現の工夫

A

学習のめあて コマーシャルについて根拠をもって自分の考えを書く。

ー「オーディエンス」の筆者の主張に対して、あなたの意見を書こう。

マイシート3

6 本時の展開 (5/9)

(1) ねらい

筆者の主張と事例をまとめることを通して、主張と根拠との関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師－「メディア・リテラシー入門」本文拡大、「マイシート2」の拡大、文章構成の三つの型

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。 本時のめあて－事例の工夫が分かる。</p> <p>・「メディア・リテラシー入門」ではどんな事例の工夫があるのかな。</p> <p>2 「メディア・リテラシー入門」を読んで、文章構成や筆者の主張、事例をまとめる。</p> <p>(1)音読をし、形式段落を確認する。 (2)筆者の主張を見付け、文章構成の型を確認する。 ・文章構成は筆者の主張が書かれている段落を見付ければ分かる。 ・文末表現で何が書いてあるか分かる。 (3)事例とその共通点を調べ、筆者の主張の根拠をまとめる。 ・どの情報も伝える側の意図が表れる。 ・全てのニュースは編集されているとまとめている。 (4)事例の工夫とその効果を考える。 ・複数の事実を述べると、筆者の主張に説得力が出る。 ・事例から共通している事実を述べているので、筆者の主張に納得する。</p>	<p>5分</p> <p>35分</p>	<p>・学習課題と本時との関連を伝え、目的意識を持って意欲的に学べるようにさせる。 ・副教材「メディア・リテラシー入門」においても、「マイシート2・3」を用いることを伝え、既習事項を生かして積極的に学習するよう伝える。</p> <p>・文章構成の型を調べさせるために、筆者の主張が書かれている箇所に線を引かせる。尾括型であることを全体で確認し、筆者の主張を「マイシート2」Aに書かせる。 ◎副教材の文章構成を捉えやすくするため、文章構成の三つの型を掲示する。 ・三つの意味段落に分けさせることで、事例の内容をまとめやすくさせる。 ・事例の内容を「マイシート2」Bに書かせる。 ・複数の事例をまとめる段落があることに気付かせるために、「つまり」に着目させる。</p> <p>・事例で複数の事実を述べたり、それらに共通している事実を「つまり」を用いて述べたりする効果を考えさせる。筆者が主張に説得力を持たせるために工夫している事例の述べ方であることを理解させると共に、自分の考えを書く際にも事例の述べ方の工夫で意見に説得力が出ることを理解させる。 ・「マイシート2」Cに事例の述べ方の工夫とその効果について書かせる。</p>
<p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>・共通する事実をいくつか書くと、主張に説得力が増す。 ・いくつか事実を書いて、「つまり」でまとめると主張に説得力が出る。</p>	<p>5分</p>	<p>・振り返りでは、「事例の述べ方でどんな工夫をしていたか主張と関わらせて書く」よう伝え、根拠と主張の関係の理解の様子を見取る。</p> <p>【読む】【書く】 ◇事例で共通している事実に基づく根拠を述べる</p>

6 本時の展開 (6 / 9)

(1) ねらい

要旨をまとめて内容を把握することを通して、筆者の主張に対して根拠を基に自分の意見を持つことができる。

(2) 準備

教師－「メディア・リテラシー入門」本文拡大、「マイシート3」の拡大、意見文の例文、インターネットニュースの画像、
 ※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」
 児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート2」、「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
1 学習課題と本時のめあてを知る。 本時のめあて－情報との関わり方について自分の考えを持つ。 ・要旨を自分でまとめられそうだ。	5分	・自分の考えを持つためには要旨をまとめて筆者の主張を明確に捉える必要があることを伝えることで、本時の学習の見通しを持たせる。 ・要旨をまとめた活動を振り返らせ、既習事項を利用して学べるようにさせる。
2 「メディア・リテラシー入門」の要旨をまとめる。 (1) 事例を一文にまとめる。 ・中心となる文は、「全てのニュースは編集されている」だ。 (2) 筆者の主張と事例を接続語を使ってつなげ要旨をまとめる。 ・事例は、筆者の主張の根拠になるようにつなげよう。	10分	・事例を要約して一文で書かせるため、前時の「マイシート2」から中心となる文は、「全てのニュースは編集されている」であることを確認させる。 ◎既習の接続語(だから、なぜなら、～からだ。)を想起させることで、文をつなぐ時に利用させる。 ・要旨が意味の通る文章になっているか確かめさせるため、個でまとめた後にグループで確認させる。(要旨例は、次頁「7 板書計画」参照)。
3 情報との関わり方について自分の意見を持ち、尾括型で意見文を書く。 (1) 例文や友達の意見とその根拠を参考に、自分の意見を考える。 ・コマーシャルを見てゲームを買ったがおもしろくなかった。買う時は良く考えた。 ・テレビでいくつかの天気予報を見てから出かけた。どれも雨の確率が高かったので傘を持って行き、濡れずに済んだ。 (2) 文章構成と文章表現を確認する。 ・尾括型を用いる。 ・事例を二つ以上書こう。 (3) 自分の意見とその根拠を書く。 ・事実をいくつか述べて意見に説得力を持たせよう。	25分	・意見文の例文を提示して参考にさせることで200字程度の意見文の文章量をつかませる。 ・意見や根拠を持ちやすくさせるため、ニュースやコマーシャルなど身近な情報についての意見やその根拠についての交流の時間を設定する。 ・使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」 A に文章構成の工夫は尾括型を用いること、文章表現の工夫では根拠を述べることを記述させる。また、「マイシート3」 B に尾括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させることで意見文に利用する意識を高めさせ、その後「マイシート3」 C に意見文を書かせる。 ◎書き出せない児童には、情報と上手く関わった経験や失敗した経験について話させることで、児童の意見や根拠となる事実を引き出して気付かせるようにする。

・「つまり」を使って共通する事実を述べよう。

- 4 本時の振り返りをする。
- ・ 根拠となる事実をいくつか書くこと。
 - ・ 共通する事実から根拠を持つこと

- 5 分
- ・ 振り返りでは、「自分の意見を持つときに大事なことは何か」について書かせ、根拠を持って意見を述べる大切さを確認させる。

【読む】
 ◇情報との関わり方について、根拠を基に自分の意見を持っている。 (マイシート3)
 ※二つ以上の事実に基づく意見を書けていればB評価

7 板書計画

<p>みなさんは、テレビや新聞で紹介されたスポーツ選手を応援したくなかったことはありませんか。 わたしは、新聞で、十四才の卓球選手の伊藤美誠さんがリオオリンピックのころになりそうだという記事を読みました。中学生がオリンピックに向けてがんばっているそうです。 テレビでは、ベテランの福原愛選手がオリンピックころほとして紹介されていました。 つまり、メディアによって紹介する選手がちがっていたのです。 わたしは、いろいろなメディアからオリンピックに向けてがんばっている選手を知りたいと思います。そして、その人たちみんなを応援したいと思います。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">文章構成の工夫</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">【尾括型】 始め 話題提示 中 事例(根拠) 終わり 意見</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl;">文章表現の工夫</td> <td style="writing-mode: vertical-rl;">話題提示は問いかけの文。か。 事実(二二)です。 します。 「つまり」 意見、思います。</td> </tr> </table>	文章構成の工夫	【尾括型】 始め 話題提示 中 事例(根拠) 終わり 意見	文章表現の工夫	話題提示は問いかけの文。か。 事実(二二)です。 します。 「つまり」 意見、思います。	<p>だから、 全てのニュースは、メディアによって編集されている。 みなさんがメディア・リテラシーの力を付けることは、ニュースを自分なりに判断して受け止めるだけでなく、何が役に立つ情報かを選ぶ力を付けることにもなるのだ。</p>	<p>10 / 21 (水) 「メディア・リテラシー入門」</p>
文章構成の工夫	【尾括型】 始め 話題提示 中 事例(根拠) 終わり 意見						
文章表現の工夫	話題提示は問いかけの文。か。 事実(二二)です。 します。 「つまり」 意見、思います。						
<p>本時のめあて 情報との関わり方について自分の考えを持つ。</p>							

8 マイシートの利用

	B			
		C	A	A

学習のめあて 情報との関わり方について自分の考えを持つ。
 一 情報との関わり方について、あなたの意見を尾括型の文章構成で、根拠を持って書こう。

マイシート3

6 本時の展開 (7/9)

(1) ねらい

文書構造の特徴を基に意見文を見直すことを通して、根拠となる事実を基にした意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「マイシート3」の拡大、意見文の例文

※教室内掲示－学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文を見直して、分かりやすい意見文にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や文章表現を使えているかな。 ・事実を基にした根拠が二つ以上書けているかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題と本時との関連を伝えたり、第1時で書いた身に付けたい力を思い出させたりして、目的意識を持って意見文を書かせる。 ・「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」や「マイシート3」Aに記述した文章構成の工夫や文章表現の工夫、Bに記述した尾括型の文章構成の内容を確認させることで、意識して意見文に利用させる。 ◎学習の見通しを持たせるため、前時を振り返り、意見文を書く作業の進捗状況を確認させる。
<p>2 情報との関わり方について、根拠を基に自分の考えを持ち、尾括型で意見文を仕上げる。</p> <p>(1)意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や文章表現に気を付けて書こう。 <p>(2)意見文を見直し、修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾括型になっているな。 ・文末表現にも気を付けているよ。 ・根拠となる事実が二つ以上書けたよ。 ・「つまり」が使えたよ。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ◎どの段落を書こうとしているか尋ねたり、自分の体験を話させたりして、意見文が書けるようにさせる。 ・意見文を書き終えた児童には、「マイシート3」Aに記述した文章構造の特徴の利用について確認と修正をさせ利用できたら赤で丸印を付けさせ、より良い文章が書けるようにさせる。 ・「マイシート3」Cに書いてある意見文を修正する方法は、直す言葉や文章は消さないで線で見え消しをし、新たな言葉や文章は赤で右側に書くことを知らせ、児童の表現の変容を見取れるようにする。
<p>3 グループで意見文を見直し、助言をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や文章表現が使えているな。 ・文末表現ができていないな。助言しよう。 ・事実を詳しくすると意見が伝わると思うな。助言を書こう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見文に文章構成や文章表現が適切に利用されているかを確認をさせることで、意見が伝わりやすい意見文の表現について理解を深めさせる。 ・少人数(3人程度)のグループで意見文を交換して読ませ、「マイシート3」Aに記述した文章構造の特徴の利用の確認と助言をさせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成を尾括型にすること。 ・事実を二つ以上書くこと。 ・事実と意見がつながっていること。 ・文末表現。意見は「思います。」 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「分かりやすい意見文にするために気を付けたこと」を記述させ、意見文を書く時に文章構造の特徴を利用するという意識付けと理解を定着させる。 <p style="text-align: center;">【読む】</p>

6 本時の展開 (8/9)

(1) ねらい

友達や教師からの助言を基に意見文を修正することを通して、根拠となる事実を基にした意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「マイシート3」の拡大、意見文の例文

※教室内掲示－学習計画表、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用紙

(3) マイシート

「マイシート3」

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－助言を基に修正し、分かりやすい意見文にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな助言が書いてあるかな。 ・助言を参考に修正して意見の伝わる意見文にしよう。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は助言を基にして意見文を修正した後に清書を行うことを伝えることで、見通しを持って意欲的に学べるようにさせる。 ・文章構成が整い、根拠が述べられている意見文になるように、教師からの助言も「マイシート3」に適宜記入しておく。
<p>2 助言を基にして、文章を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文末表現を工夫すればいいんだな。 ・事実を詳しくする方がいいんだな。 ・どう修正したら良いか分からないな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・修正の方法として、直す言葉や文章は消さずに線を引いて見え消しを使い、新たな言葉や文章は赤で右側に書くことを知らせ、児童の表現の変容を見取れるようにする。 ・助言で書かれた内容を参考にしながら、文章構成や文章表現が適切に利用できているか各自で再確認させ、意見が伝わりやすい文章に修正させる。
<p>3 意見文を清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成は尾括型。 ・文末表現に気を付ける。 ・根拠は事実を二つ書く。 ・根拠と事実はつながりを持たせる。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・清書用紙(次頁「9 その他」参照)にも、「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の枠を設け、使いたい文章構造の特徴を記述させることで、清書でも意識して書けるようにさせる。 ◎意見文を努力して作成してきたことを認め、清書にも意欲を持たせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に気を付けること。 ・事実をきちんと書くこと。 ・事実と意見がつながっていること。 ・文末表現。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「分かりやすい意見文にするために気を付けたこと」について書かせたり、清書用紙の「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の文章構造の特徴を利用できたか丸印を付けさせたりする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【読む】</p> <p>◇情報との関わり方について、根拠を基に自分の意見を持っている。(マイシート3・清書用紙)</p> <p>※事実に基づく意見が書けていればB評価</p> <p>【書く】</p> <p>◇尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実を書</p> </div>

6 本時の展開 (9 / 9)

(1) ねらい

意見文を発表したり聞いたりすることを通して、根拠を持って意見を述べる大切さを理解することができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「分かりやすく伝えるために身に付けたい力」、グループ編成表

※教室内掲示－学習計画表

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用紙、チェックポイントの表

(3) マイシート

なし

(4) 展開

学習活動・予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文の発表を聞いて、友達の意見とその根拠が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きちんと意見が伝わるかな。 ・根拠が書けているかな。 ・友達はどんな意見文を書いたのかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の発表を行うことで、意見を分かりやすく伝えるのに必要な力を振り返ったり、自分や友達にその力が付いたか確かめたりさせる。 ・チェックポイントの表(次頁「9 その他」参照)を用いて評価と感想を書くことを伝えることで、観点を持って友達の意見が聞けるようにさせる。 ◎学習を積み重ねて書いてきた意見文であり、自信を持って発表するように伝える。
<p>2 グループに分かれ、意見文を発表したり、評価したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いかけ文で関心が持てたぞ。 ・根拠と意見がきちんとつながっている。 ・自分の意見と違うな。 ・意見は同じなのに根拠が違うな。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数(5人程度)のグループで、清書用紙に書いた意見文を順番に発表させる。できるだけ話題などが異なる意見文の児童が集まるように教師が意図的にグループを編成し、多様な考え方に気付かせる。 ・発表と評価は全グループ同時進行にし、児童が集中して聞いたり評価したりできるようにする。 ・チェックポイントの書かれた表を配布し、評価と感想を書かせる。 【チェックポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ①話題提示の問いかけ文で関心を持てたか。 ②根拠として挙げた事実が適当だったか。 ③意見が伝わってきたか。 ◎発表する態度や声の大きさも大切であることを伝え、意見文をしっかり読むように指導する。
<p>3 全体に意見文を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントの全てが丸だな。 ・事実が述べられているな。 ・根拠と意見のつながりがいいな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構造の特徴を利用でき、意見と根拠のつながりが良い意見文を書いた児童を数名指名し発表させることで、分かりやすい意見文にするために、文章構成を整え、根拠を基に意見を持つことの大切さを全体で再確認させる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を基に意見を持つ。 ・事実を基にして根拠を述べる。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りでは、「意見文を書く時に大切なこと」について記述させ、学習課題の解決を通して身に付けた力を見取る。

【書くこと】

◇意見文では、根拠を基に意見を持ち、事例で根拠を述べることを理解している。（学習計画表）
 ※根拠を述べることが書いてあればB評価

7 板書計画

文章 構成の 工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 終わり 意見	文章 表現の 工夫	話題提示は問いか けの文 か。 文末表現 します。 事実 します。 意見 く思います。	分かりやすく伝えるために身に付けたい力 ・文章構成(文章の組み立て)を理解する力 ・筆者の主張(考え)を見つける力 ・根拠を基に自分の意見を持つ力 ・文章構成や文章表現を工夫して書く力	グループ1 (児童名) グループ2 (児童名) グループ3 (児童名) グループ4 (児童名)	本時のめあて 意見文の発表を聞いて、分かりやすく伝えるのに必要な力が分かる。	学習課題 情報との関わり方について自分の意見を発表しよう。 根拠を持って、自分の意見を書く。	10 / 26 (月)

8 マイシートの利用

本時はなし

9 その他

・チェックポイントの表

感想 よかったことを 一言で書こう。	⑧意見が伝わってきたか。	⑨根拠としてあげた事実が 適当(合っている)だったか。	⑩話題提示の問いかけ文で 関心を持てたか。	チェックポイント ◎とてもよい ○よい △もう少し	友達の名册	学習のめあて 意見文の発表を聞いて、分かりやすく伝えるのに 必要な力が分かる。	
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎				
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎				
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎				
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎				

国語科学習指導案(6年〇組)

1 単元名 根拠を持って意見文を書こう

—文章構造の特徴を生かし、筆者の意見と根拠を確かめながら読んだり、自分の意見を書いたりする—
教材名 『本物の森』で未来を守る」「ごみ問題を解決するために(教材文改編)」

2 考察

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領第5学年及び第6学年「C読むこと」の「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んだりすること」と、「B書くこと」の「イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること」を受け、二つの領域の指導事項を関連付けた単元として設定するものである。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」との関わりでは、「イ(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」を指導する。

本単元を貫く言語活動として、友達や家人に対して「環境を守るため、私の意見を発表します」を位置付け、環境保護の意見文を書き、発表する活動を行う。これは、「C読むこと」の言語活動例「イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用する」言語活動と、「B書くこと」の言語活動例「イ 自分の課題について調べ、意見を記述した文章や活動を報告した文章などを書いたり編集したりする」言語活動を受けたものである。主教材「ごみ問題を解決するために」では、ごみの埋め立て処分場を話題にし、ごみが多量に出される実態と筆者がごみを減らすための解決策を事例として挙げ一人一人の努力によって環境が守られるのだという意見を述べている。副教材の『本物の森』で未来を守る」では、筆者は、日本の気候に合った植生が残っている森のことを「本物の森」とし、「本物の森」が自然災害から我々の生活を守ってきたことを事例として挙げて説明している。どちらの筆者も、人間の都合で自然を破壊することが環境破壊や人災を引き起こしていることを問題とし、環境保護について訴えている。高学年になり他教科などで環境問題について学ぶ機会に触れることが多くなった児童は、これらの教材文を基にして環境保護について自分の考えを持ち、他者に伝えるという言語活動は抵抗なく取り組めるものと考えられる。

二つの教材文は、話題となる「始め」、事例を挙げている「中」、筆者の主張が述べられている「終わり」の、尾括型の文章構成になっている。また、両筆者共に、自分の主張に説得力を持たせるために事例では自分の実体験や見聞きした経験を根拠として挙げて説明している。これらの文章構成や事例の述べ方の工夫といった文章構造の特徴を指導することで、児童は主教材で理解した文章構造の特徴を生かし、副教材では主体的に学んでいこうと考える。

以上のような指導により、児童は説明的な文章を題材とした学習において文章構造の特徴を捉えながら文章を読み、筆者の意見、根拠、その関係について理解し、それらを表現に用いることで自分の考えを明確に表現する方法を身に付けていくと思われる。

(2) 指導方針

- ・単元を貫く言語活動として「環境を守るため、私の意見を発表します」を位置付ける。単元の導入では、社会科や家庭科などで環境について学んだ活動を想起させたり、日常生活でどのような環境問題に関心があるか話させたりして、環境問題やその保護に課題意識を持たせるようにする。また、児童の意識をより高め、具体的な環境問題や環境保護について知識を得られるように図書室から環境に関する図書を借りて教室内に配置しておく。
- ・本単元では、尾括型の文章構成、根拠、根拠と主張との関わりについて重点的に指導を行う。既習事項の活用として、文章構成の三つの型の利用、要旨の読み取り、文の性質を読み取る文末表現の利用などを行う。そのため、既習事項の実態を把握し、状況に応じて児童がそれらを活用できるよう振り返りの活動を取り入れる。

3 研究とのかかわり

本単元では、まず、文章構造の特徴の一つである文章構成を捉えさせ、すぐに自分の考えの表現にそれを使って意見文を書く試行させるワークシート「マイシート1」を用いる。これは、児童に、説明的な文章では筆者が意見を伝えるために文章構成を意図的に工夫していることを理解させること、自分が書く場合にもその文章構成を利用すれば意見が伝わりやすい文章になることを理解させるためである。

次に、主教材及び副教材を使って身に付けさせたい文章構造の特徴とその効果を理解させるワークシート「マイシート2」を用いる。本単元では、事例の述べ方の工夫として、事実に基づいて説明される根拠について着目させる。既習の文章構造の特徴であるが、繰り返しによる指導を行い、実体験や見聞きした経験を基にした根拠の述べ方を理解させ、事実に基づく根拠を述べる効果について考えさせる。根拠を述べることは、筆者の意見に説得力を持たせ、自分の意見を明確に述べる上で大切な文章構造であることに気付かせ、自分の表現に用いる意識を高めたいと考える。

そして、理解した文章構造の特徴を利用して自分の考えを意見文に書かせるワークシート「マイシート3」を用いる。児童に、「マイシート1・2」で学んだ文章構成や根拠、意見と根拠の関わりについてもう一度振り返ってシート上に記述させ、書く際に利用する意識を高めてから意見文を書かせる。意見文を書いた後は、記述した文章構造の特徴が適切に利用できたか自他による評価活動をさせ、自分の意見が明確に表現できるようにさせる。

4 単元の目標

文章構造の特徴を生かし、筆者の意見と事例の関わり方を確かめながら読んだり、根拠を持って自分の意見を書いたりすることができる。

5 指導計画（全9時間予定）

評価規準	国語への 関心・意欲・態度	環境保護について自分の意見を伝えるために、説明的な文章を筆者の意見と事例との関わり方に着目しながら読んだり、実体験や見聞きした経験を基にした根拠を持って自分の意見を書いたりしようとしている。		
	書く能力	意見の伝わりやすい意見文にするために、尾括型の文章構成や根拠を述べる表現の効果を理解し、自分の意見を伝える文章に用いている。		
	読む能力	筆者の意見に対する自分の意見を持つために、文章構成を捉えて筆者の意見を読み取ったり、意見と事例との関わり方を確かめながら読んだりしている。		
	言語についての 知識・理解・技能	尾括型の文章構成や根拠、文末表現などの文章表現の効果を理解し、読んだり書いたりする際に用いている。		
時間 過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	
	活用させたい知識等	思考力・表現力等		
第1時	課題把握	○語句の意味の理解	○体験から課題を見付ける力 ○学習課題から学習の見通しを持つ力	○環境問題を想起し、学習課題を設定する。 ○学習計画を立て、学習の見通しを持つ。 ○主教材「ごみ問題を解決するために」を読む。
第2時	課題追究	○文章構成の知識 ○文末表現で文の性質を見分ける知識 ○見出し（小見出し）の知識	○意見と事例を区別し文章構成を捉える力	○主教材の文章構成を捉え、小見出しを付ける。 ○尾括型の文章構成を使って身近な話題で意見文を書く。 マイシート1
第3時		○要点・要約の知識	○中心となる語や文を手掛かりに文章を読み、要点や要約をまとめる力	○主教材の筆者の意見を捉える。 ○意見の根拠となる事例をまとめる。 ○筆者の意見と事例との関わりについて考える。 マイシート2

第4時	○要旨の知識 ○事例の知識	○要旨をまとめる力 ○意見ととその根拠となる事例を関連させる力	○主教材の要旨をまとめる。 ○要旨を基に自分の意見を持つ。 ○自分の意見の根拠となる事実を考え、意見文を書く。 マイシート3
第5時	○接続語の知識 ○中心となる語や文の知識 ○要点の知識 ○事例の知識	○接続語や中心となる語や文を手掛かりに要点をまとめる力	○副教材「『本物の森』で未来を守る」を読み、文章構成を調べる。 ○筆者の意見を捉える。 ○接続語や中心となる言葉を手掛かり事例の要点をまとめる。 マイシート2
第6時	○要旨の知識 ○事例の知識	○要旨をまとめ、自分の意見を持つ力 ○意見ととその根拠となる事例を関連付ける力	○副教材の筆者の意見と事例との関わりについて考える。 ○要旨をまとめる。 ○環境保護のための提案について自分の意見を持つ。 ○自分の意見を支える根拠を考え、意見文を書く。 マイシート2 マイシート3
第7時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○自分の意見を支える根拠を考え、意見文を書く。 ○書いた意見文の文章構成や文章表現について友達と確認し、助言をする。 マイシート3
第8時	ま と め ○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○文章構造の特徴を利用して書く力	○友達の助言を基に意見文を修正し、清書をする。 マイシート3
第9時	○文章構成の知識 ○文末表現の知識 ○事例の知識 ○接続語の知識	○意見と根拠を捉える力	○環境保護について自分の意見文を発表する。 ○友達の意見文の評価を行う。

6 本時の展開 (1/9)

(1) ねらい

学習課題解決に向けて身に付けたい力を知ることを通して、学習の見通しを持つことができる。

(2) 準備

教師－学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」の掲示物、環境に関する図書

児童－教材文「ごみ問題を解決するために」、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート なし

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 環境問題について知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染(PM2.5、車の排気ガス) ・水質汚染 ・地球温暖化(ツバル、沖ノ鳥島) ・不法投棄(景観・悪臭) ・絶滅危惧種(ジャイアントパンダ) ・放射能による汚染(東日本大震災) 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科や家庭科の学習、児童の体験などから、環境問題について知っていることを話させることで、環境問題に意識を持たせる。 ◎友達の発表した環境問題の中から一番気になるものを選ばせることで、学習に興味を持たせる。 ・環境問題についての知識を得られるように、環境に関する図書を教室内に設置し、読書を勧める。
<p>2 学習課題から身に付けたい力を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題－「環境を守るため、私の意見を発表します－根拠を持って、意見文を書く－」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・環境を守るにはどうしたら良いだろう。 ・意見文ってどうやって書くの。 ・根拠を持つってどういうこと。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題を放置せず、環境保護について一人一人が意見を持って行動を始める必要性に気付かせることで、学習課題の設定につなげる。 ・本単元での学習の目的を持たせるため、学習課題を解決するために自分に必要な「身に付けたい力」を捉えさせる(次頁「7 板書計画」参照)。
<p>3 学習計画表を基に学習の見通しを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>本時のめあて－学習課題から、学習計画を立てる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決に向けて学習を頑張ろう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表(次頁「9 その他」参照)に毎時間の学習内容を記入させることで学習の見通しを持たせる。学習の終わりに、分かったことや感想などの振り返りを書くことを知らせる。 ◎計画的に学んでいくことで、意見文を書くために必要な力を身に付けられることを伝え、学習意欲を喚起させる。
<p>4 意見文「ごみ問題、一人一人ができることから」の範読を聞く。</p> <p>(1)漢字の読みを確認する。</p> <p>(2)形式段落①～⑧の番号を付ける。</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の読みや語句の意味を確認させる。 ◎拡大した本文で形式段落を確かめさせる。 ・読みの観点として「筆者は読み手にどんな意見を伝えようとしているか」を示し、内容の把握への意識を持たせる。
<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に気を付けて意見文を書く力を付けたい。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「課題解決に向けてこれからの学習で身に付けたい力」について書かせ、意欲を見取る。

6 本時の展開 (2 / 9)

(1) ねらい

文章構成を調べたり、尾括型で文章を書いたりすることを通して、尾括型の文章構成を理解することができる。

(2) 準備

教師－文章構成の三つ型(尾括型・頭括型・双括型)、「ごみ問題を解決するために」本文拡大、「マイシート1」の拡大、意見文の例文

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童－教材文「ごみ問題を解決するために」、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート1」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文の文章構成が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成は三つあったよ。 意見の書かれている段落で分かるぞ。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> 三つの文章構成の型を提示してそれぞれの型の内容を想起させ、利用できるようにさせる。 ◎文章構成の三つの型と内容を掲示しておくことで、既習事項を振り返ることができるようにさせる。 文章構成の型を調べるには、意見が文章全体の「始め」と「終わり」のどちら(又は両方)に書かれているかを調べれば良いという見通しを持たせる。
<p>2 主教材「ごみ問題を解決するために」の文章構成を調べ、小見出しを付ける。</p> <p>(1)音読後、筆者の意見を見付けて文章構成の型を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文末表現を見れば意見が見分かるかもしれない。 筆者の意見は終わりの部分だから、尾括型だな。 <p>(2)意味段落に分け、小見出しを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見は⑧段落。 ①段落は文末表現から話題提示だな。 事例は②段落からだと思う。 事例は内容が二つに分かれそうだ。 <p>(3)文章構成の特徴をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 尾括型で話題提示→事例→主張の順になっている。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> 自力解決の場を設けるため、個で筆者の意見が書かれている所に線を引かせてから、全体で意見と文章構成を確認する。 ◎意見を見付ける際には、文末表現や接続語に気を付けて読むと良いことを想起させる。 ⑧段落の意見以外の段落には何が書かれているか考えさせる。①段落は話題提示、②～⑦段落は具体的な資料や数字を用いて説明している事例であることを押さえ、「マイシート1」Aに記入させる。 教材文に意味段落番号㊦(①)、㊧(②～⑦)、㊨(⑧)を記入させ、それぞれの意味段落の小見出しを考えさせる(次頁「7 板書計画」中の小見出し参照)。 小見出しの内容から尾括型の文章構成であることを確認し、尾括型の特徴を「マイシート1」Bに記入させる。
<p>3 尾括型の文章構成を使って、身近な話題で意見文を書く。</p> <p>(1)例文を読んで、構成や文末表現を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 始めに話題提示を書くんだな。 自分の意見は体験を基にして、伝えたいことを書けばいいんだな。 <p>(2)例文を参考にしながら、尾括型の意</p>	15分	<ul style="list-style-type: none"> 児童が意見を持ちやすい身近な話題(修学旅行)を提示し、100字程度の尾括型の意見文を「マイシート1」Cに書かせる。 例文に示した改は改行を表し、段落を改めて更に一文を空けることを指示し、段落意識を高めさせる。 ◎例文を示し(次頁「7 板書計画」参照)、話題提示の「鎌倉大仏」を他のものに変えることで自分なりの意見文になることを伝える。

見文を書く。

- 自分の体験を思い出して事実を書けばいいんだな。
- 自分の意見は最後に書けばいいんだ。

4 本時の振り返りをする。

- 尾括型は、話題提示→事例→主張の順で書かれている。
- 尾括型は筆者の主張が最後にある。

- 例文から、話題提示は問いかけ文、事実は「～です。」「～ます。」、意見の文章表現は「～と思います。」を使うと良いことに気付かせる。
- 尾括型で意見文を書かせるため、書き終えた児童にはペアで意見文を発表させ、意見が終わりまで述べられているか確認させる。

5 学習計画表に「尾括型の文章構成で分かったこと」を書かせ、理解の様子を見取る。

【読む】

◇尾括型の文章構成を理解している。(学習計画表)

【書く】

◇尾括型の文章構成で意見文を書いている。

※話題提示－事例－主張の順で文章が書けていれば B 評価 (マイシート1)

7 板書計画

尾括型の意見文の例文

「鎌倉大仏を見て」

改みなさんは、鎌倉大仏を見てどんなことを思いましたか。

改大仏は、今から七百五十年前に建てられました。大風や地震でこわれたこともありましたが、修復して守ってきたそうです。

改私は、長い間人々が守ってきた大仏を、これから先もずっと大切にしていきたいと思います。

文章構成の特ちよう

尾括型

- 話題提示↓読み手の関心
- 事例↓詳しい説明
- 主張↓筆者の意見

終わり	中	始め	文章構成	尾括型
意見	事例	話題提示	小見出し	
	一人一人ができることから始めれば、環境を守れると思う。	たくさん出されるごみ	ごみの現状とごみを減らす具体的な解決策	

本時のめあて

意見文の文章構成が分かる。

文章構成の型

尾括型

頭括型

双括型

11 / 10 (火)

「ごみ問題を解決するために」

8 マイシートの利用

二 同じ文章構成で文章を書こう

話題 一 修学旅行

C				

文章構成

小見出し

文章構成の特ちよう

学習のめあて 意見文の文章構成が分かる

一 「ごみ問題を解決するために」の文章構成を表にまとめよう。

A				
B				

マイシート1

6 本時の展開 (3/9)

(1) ねらい

筆者の意見と事例をまとめることを通して、意見と根拠との関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師－「ごみ問題を解決するために」本文拡大、「マイシート2」の拡大、意見文の例文、

※教室内掲示－学習課題、学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童－教材文「ごみ問題を解決するために」、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート2」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－事例の工夫が分かる。</p>	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例として何が書かれているかに着目させ、事例の内容が筆者の意見とどのように関係してくるか考える学習であることを伝える。 ◎尾括型の「中」の段落で事例が述べられていることを確認させ、読み取る範囲を把握させる。
<p>・事例は「中」の段落に書かれている文章のことだな。どんな工夫があるんだろう。</p> <p>・事例には、詳しい説明が書かれていたな。</p> <p>2 「ごみ問題を解決するために」の筆者の意見と事例の関わりを読み取る。</p> <p>(1) 筆者の意見を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑧段落全てが筆者の意見だ。 ・長いな。大事な言葉を使ってまとめるといひかな。 <p>(2) 事例をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・②段落は、ごみの量が書いてあるな。 ・③段落は、不法投棄のことだな。 ・⑤段落は、持っている物を長く使う方法だな。 ・⑥段落は、リユース・リサイクルのことが書いてある。 ・⑤・⑥は家のことで、⑦段落は学校のリサイクルのことだ。 	<p>25分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見を確認し、「マイシート2」Aに書いて強調させ、意見と事例との関わりを視覚的に捉えられるようにする。 ・事例の書かれている段落の要点を、中心となる言葉や文章を使ってまとめ、「マイシート2」Bに書かせる。
<p>3 事実を基にした事例と意見との関係について考える。</p> <p>(1) 事例の工夫をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の数字を使っている。 ・自分の経験を述べている。 <p>(2) 根拠(事実)を述べる効果を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実に基づく事例は根拠と言うんだな。 ・事実に基づく根拠を述べると意見に説得力が増して確かに納得するな。 	<p>10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例では、資料などから数字を引用して述べたり、自分の経験から具体的かつ複数の解決策を述べたりしていることを取り上げ、「事実に基づく具体的な説明」を根拠として挙げるといふ工夫に気付かせる。 ・事例で根拠を述べる効果について考えさせることで、読み手に対して意見が説得力を持つことを理解させ、「マイシート2」Cに記入させる。 ◎「分かりやすく伝えるために必要な力」の「根拠を基に自分の意見を持つ力」に関わることを伝え、今後の学習に役立てる意識を持たせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「根拠を述べるのはなぜか」について書

- ・ 事実を書いて、意見に説得力を持たせるため。
- ・ 事実は本当にあったことだから、事実を書けば、みんなを納得させることができる。
- ・ 読み手に意見を納得させるため。

かせ、根拠と意見の関係の理解の様子を見取る。

【読む】【書く】

◇ 事実に基づく根拠を述べる効果を意見と関わらせて理解している。(学習計画表・マイシート2)

※ 意見が分かりやすい・意見に説得力がある・読み手に意見を納得させるなどの用語を用いて記述していればB評価

- ・ 次時に、ごみを減らすための意見文を根拠を述べて書くことを知らせ、各家庭でごみを減らすための取組を調べてくるように伝える。

7 板書計画

根拠―事実を基に説明
「～です」「～ます」
自分の体験・見聞きしたこと

よさ
○ 意見に説得力を持たせる
○ 意見に納得してもらえる

筆者の意見―一人一人ができることから始めればごみは減り、環境を守れると思う。

終わり	<p>根拠=事実 説得力・納得させる</p> <p>長く使う リユース(広告裏紙・自転車) リサイクル(牛乳パック・新聞)</p>	事例	中	始め
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの現状と ・ ごみを減らす具体的な解決策 ・ 一日に14万トン ・ プール300杯分 ・ 不法投ぎ問題 			<p>事例の工夫が分かる</p> <p>話題提示―たくさん出されるごみ</p>

本時のめあて
事例の工夫が分かる。

11 / 11(水)

「ごみ問題を解決するために」

8 マイシートの利用

	筆者の主張―	A	
終わり	中		始め
筆者の主張	事例		話題提示
主張	B	C	<p>たくさん出されるごみ</p> <p>ごみの現状とごみを減らす具体的な解決策</p>

学習のめあて
事例の工夫が分かる

「ごみ問題を解決するための」を挟んで、筆者の主張と事例の工夫を見付けよう。

マイシート2

「事例の工夫とそれのよさについてまとめよう。」

6 本時の展開 (4/9)

(1) ねらい

要旨をまとめて内容を把握することを通して、根拠となる事実を基に自分の意見を考えて書くことができる。

(2) 準備

教師－「ごみ問題を解決するために」本文拡大、「マイシート3」の拡大、要旨の説明カード

※教室掲示－学習課題、学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童－教材文「ごみ問題を解決するために」、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート3」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－ごみを減らすための意見を根拠を持って書く。</p> <p>・要旨とは、その文章の内容や筆者の考えの中心となる事柄だな。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを持つためには要旨をまとめて筆者の意見を明確に捉える必要があることを伝えることで、本時の学習の見通しを持たせる。 児童が自力で要旨がまとめられるように、事例と筆者の意見を一文ずつに要約し、事例と意見を意味が通るようにつなげる方法を示す。
<p>2 「ごみ問題を解決するために」の要旨をまとめる。</p> <p>・ごみの問題を解決するために、家や学校でごみを減らす努力をしている。</p> <p>・一人一人できることから始めればごみは減り、環境を守れると思う。</p>	10分	<ul style="list-style-type: none"> 事例を要約する活動は一斉指導で行い、児童からより簡潔な要約を導き出し、板書する(次頁「7 板書計画参照」)。 事例と意見を「このように」を使ってつなげることで意味の通る文章になることに気付かせる。
<p>3 「ごみ問題を解決するために」の要旨から、ごみを減らすための意見文を根拠を持って尾括型で書く。</p> <p>(1)ごみを減らすためにしている取組を出し合う。</p> <p>・洗剤・シャンプーは詰め替え用を買っている。</p> <p>・小さくなった服は、従姉妹にあげている。</p> <p>(2)意見文を書く。</p> <p>・事実は何を書こうかな。</p> <p>・事実からどんな意見を書こうかな。</p> <p>・話題提示は、例文を真似しよう。</p>	25分	<ul style="list-style-type: none"> 発表された取組を板書することで、児童に意見の根拠となる事実は身近にあることに気付かせる。 使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」Aに文章構成の工夫は尾括型を用いること、文章表現の工夫では事例で根拠を述べることを記述させる。また、「マイシート3」Bに尾括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させることで、意見文に利用する意識を高めさせ、その後、「マイシート3」Cに意見文を書かせる。 根拠となる事実を書くことが自分の意見に説得力を持たせることになることを再確認する。 ◎友達から発表された意見から自分の意見と似ているものを見付けさせ、意見文を書く時の参考にさせる。書き出せない児童には、質問をして事実や意見を話させることで意見文につなげる。 意見文の例文を提示して参考にさせることで、150字程度の意見文の文章量をつかませる(次頁「7 板書計画」参照)。 改行により段落意識を持たせるため、段落の始めに一文文字下りの改の印を付けさせる。

- 4 本時の振り返りをする。
- ・事実をしっかり書けた。
 - ・自分の体験から事実が書けた。

- 5 分
- ・「意見の根拠として事実を書くことができたか」について自己評価させ、根拠をしっかり述べることで意見文で大切であることを確認させる。

【読む】

◇ごみを減らすために、自分の意見を持っている。
(マイシート3)

※ごみを減らすための意見が持てていればB評価

【書く】

◇尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実を書いている。
(マイシート3)

※尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実が一つ書けていればB評価

7 板書計画

11 / 12 (木) 「ごみ問題を解決するために」

本時のめあて

ごみを減らすための意見を根拠を持って書く。

要旨ーその文章の内容や筆者の意見の中心となること

事例ーごみの問題を解決するために、家や学校でごみを減らす努力をしている。

このように
意見ー一人一人できることから始めればごみは減り、環境を守ることができると思う。

ごみを減らすための取組

- ・洗剤・シャンプーは詰め替え用を買う。
- ↓容器のプラスチックごみを減らせる。
- ・小さくなった服は、いとこにあげている。
- ↓服を捨てないのでごみが減る。

文章構成の工夫	文章表現の工夫
尾括型 話題提示 事実(根拠) 意見	文末表現 話題提示 問いかけの文 〜か。 〜です。 〜ます。 〜ます。 意見 〜 생각합니다。 〜と考えます。

改みなさんは、買い物でマイバッグを使っていますか。改わたしは、マイバッグを使っています。しかし、ときどきマイバッグを忘れることがあります。そんな時は、レジぶくろはもらわず、お店に置いてある段ボール箱を使っています。段ボール箱はリサイクルに出し、ごみにはしません。改多くの人がマイバッグや段ボール箱を使うことで、レジぶくろのごみを減らせると 생각합니다。

8 マイシートの利用

	B	文章構成の工夫	学習のめあて「ごみを減らすための意見を根きよを持って書く」 ーごみを減らすための意見を書く。
		A	
	C	文章表現の工夫	

マイシート3

6 本時の展開 (5/9)

(1) ねらい

筆者の意見と事例をまとめることを通して、意見と根拠との関わりを理解することができる。

(2) 準備

教師—『本物の森』で未来を守る」本文拡大、「マイシート2」の拡大、文章構成の三つの型

※教室内掲示—学習課題、学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童—教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート2」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。 本時のめあて—事例の工夫が分かる。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題と本時との関連を伝え、目的意識を持って意欲的に学べるようにさせる。 ・副教材『本物の森』で未来を守る」においても、「マイシート2・3」を用いることを伝え、既習事項を生かして積極的に学習するよう伝える。
<ul style="list-style-type: none"> ・この文章の文章構成の型は何か。 ・事例の工夫は何だろう。 <p>2 『本物の森』で未来を守る」を読んで、文章構成や筆者の意見や事例を調べてまとめる。</p> <p>(1) 範読を聞いたり形式段落を確認したりする。</p> <p>(2) 文章構成の型を確認し、筆者の意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成は筆者の意見が書かれている段落を見付ければ分かる。 ・文末表現で分かる。 <p>(3) 事例(③～⑱)とその共通点を調べ、筆者の意見の根拠をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本物の森」は減っているな。 ・「本物の森」は役立っているんだな。 ・震災で出たガレキを利用して「本物の森」を造ろうとしている。 ・「本物の森」ができるといのちや財産が守られるんだな。 <p>(4) 事例の工夫とその効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数字を述べると説明が分かりやすい。 ・実際に起きたことを述べると納得できる。 ・根拠がきちんと述べられていると意見に説得力が出るな。 ・自分も根拠を持って意見文を書きたいな。 	35分	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構成の型を調べる方法を復習させたり、筆者の意見が書かれている箇所に線を引くことを思い出させたりして、自力解決で尾括型の文章構成であることに気付かせる。 ◎文章構成の型や意見が書かれている段落の把握について友達と相談しながら読んで良いことを知らせ、読み取りに自信を持たせる。 ・筆者の意見「マイシート2」Aに記入させて強調し、事例との関わりを視覚的に捉えられるようにする。 ・②段落の問いかけの文に着目させることで、③段落から⑱段落までが事例であることを押さえる。 ・事例の内容の読み取りでは、筆者が具体的な数値や実際に起きた出来事を述べていることや、説明する順序を工夫して述べていることに気付かせ、「マイシート2」Bに事例を記述してまとめさせる。 ・事例の述べ方の工夫がどんな効果をもたらすか筆者の意見と関わらせて考えさせ、「マイシート2」Cに書かせる。 ・事例で数字を用いたり事実に基づく根拠を述べたりすることで、筆者の意見に説得力が出ることを理解させる。 ・自分の意見を表現する時にも、事実を基にした根拠を述べることで自分の意見に説得力が出て、相手に意見が伝わりやすくなることに気付かせる。
<p>3 本時の振り返りをする。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「事例の述べ方でどんな工夫をしていた

- ・ 事実は本当のことだから、意見に説得力を持たせるよさがある。
- ・ 事実は意見を納得させるよさがある。

か意見と関わらせて書く」よう伝え、根拠と意見の関係の理解の様子を見取る。

【読む】【書く】

◇ 事例で事実に基づく根拠を述べる効果を意見と関わらせて理解している。(学習計画表)

※ 事実を述べることによって、意見に説得力を持たせることや、読み手に意見を納得させるなどのよさを記述していればB評価

7 板書計画

筆者の意見—人のいのちを守るため、もう一度日本に昔からあった「本物の森」を再生していかなければならないと思っています。

終わり
意見

根拠＝事実
説得力・納得させる

「森の防波堤」
ガレキと土地本来の木々を利用
← 15年〜20年
「本物の森」がいのちや財産を守る

自然の持つ強さを生かした防災対策に注目
津波にもたえる
火事にも強い
「鎮守の森」 自然災害に対する力強さ

事例
「本物の森」は切り開かれてなくなった
0.06%

始め
話題提示 人が住んでいるところに「本物の森」がないのはどうしてだろうか。

よさ
○ 意見に説得力が増す
○ 意見に納得してもらえる

根拠—事実を基に説明
「くです」「くます」
自分の体験・見聞きしたこと・数値
← **実際に起きた出来事**

本時のめあて
文章構成や事例の工夫が分かる。

11 / 13 (金)
「本物の森」で未来を守る

8 マイシートの利用

筆者の主張— **A**

B

学習のめあて 事例の工夫が分かる
— 「『本物の森』が未来を守る」を読んで、筆者の主張と事例をまとめよう。

C

— 事例の工夫とそのよさについてまとめよう。

マイシート2

6 本時の展開 (6 / 9)

(1) ねらい

要旨をまとめて内容を把握することを通して、根拠となる事実を基に自分の意見を持つことができる。

(2) 準備

教師－『本物の森』で未来を守る」本文拡大、「マイシート3」の拡大、意見文の例文

※教室掲示－学習課題、学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート3」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>本時のめあて－環境を守るために根拠を持って自分の意見を書く。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・要旨から自分の考えを持てばいいんだな。 ・前時に学習したことを使えるな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持つために要旨をまとめて筆者の意見を明確に捉える必要があることを伝え、本時の学習の見通しを持たせる。 ◎筆者の意見と事例の内容は前時の「マイシート2」にまとめられていることを伝え、学習のつながりを意識させる。
<p>2 『本物の森』で未来を守る」の要旨をまとめる。</p> <p>(1) 事例を一文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に事例を読み取ったな。 ・中心となる言葉をつないでいけばいい。 <p>(2) 筆者の意見と事例をつなぎの言葉を使ってつなげ要旨をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例は意見の根拠になるから、つなぎ言葉は「だから」かな。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・要旨をまとめた活動を振り返らせ、既習事項を利用して学べるようにさせる。 ◎既習の接続後を振り返らせ、事例と意見の文をつなぐ接続語を適切に用いることができるようにさせる。 ・要旨が意味の通る文章になっているか確かめさせるため、個でまとめた後にグループで確認させる(要旨例は次頁「7 板書計画」参照)。
<p>3 環境を守るため、意見に根拠を持って尾括型の意見文を書く。</p> <p>(1) 使いたい文章構成と文章表現を確認する。</p> <p>(2) 意見とその根拠を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルをして、ごみを減らす。家でごみの分別容器があり、家族でごみを出さないように努力している。 ・玉原の貴重な動植物を守る。木道を歩いたり、動植物を採集しなかったりした。 <p>(3) 根拠を基に自分の意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実を書くには、体験したことや実際に起きた出来事を取り上げればいいんだな。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の例文を提示して参考にさせることで、200字程度の意見文の文章量をつかませる。 ・使いたい文章構造の特徴として、「マイシート3」Aに文章構成の工夫は尾括型を用いること、文章表現の工夫では根拠を述べることを記述させる。また、「マイシート3」Bに尾括型の文章構成の内容を記述させる。それぞれを記述させることで、意見文に利用する意識を高めさせ、その後、「マイシート3」Cに意見文を書かせる。 ・第1時に発表した環境問題を振り返り、それらの解決方法や児童の体験を引き出す。発表された意見や体験を板書し参考にさせる。 ◎書き出せない児童には、関心のある環境問題や自分が取り組んでいる解決策について質問して話をさせることで、書く材料を見付けさせる。 ・本時は自分の考えを持ち、その根拠となる事実を想起するところまで全員に活動させる。時間があれば意見文を書き始めるように伝える。

・教室にある環境の本も参考になるぞ。

4 本時の振り返りをする。

- ・根拠を基に意見が持てたよ。
- ・根拠を持って意見文が書けそうだ。
- ・尾括型の文章構成で根拠と意見を書く段落が分かったよ。

5 分

- ・「根拠を基に自分の意見を持てたか」「尾括型で根拠と意見を書く段落が分かったか」について振り返らせ、学習計画表に記述させる。

【読む】

◇環境を守るための方法について、根拠を基に自分の意見を持っている。（学習計画表、マイシート3）

※事実に基づく意見を持っていればB評価

【書く】

◇尾括型における根拠と意見を述べる段落を理解している。（学習計画表、マイシート3）

※根拠は「中」の段落、意見は「終わり」の段落で述べるのが分かっていたらB評価

7 板書計画

<p>みなさんは、使わない部屋の電気を消していますか。私は、自分の部屋の電気は使わないときはきちんと消しています。電気の八八パーセントは、火力発電で作られているそうです。火力発電では、ガスや石油を燃やして作っているそうです。つまり、燃料を燃やしているので二酸化炭素を出しているのです。</p> <p>私は、二酸化炭素を少しでも減らし地球温暖化を防ぐために、使わない部屋の電気はこまめに消したいと思います。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">文章構成の工夫</td> <td style="text-align: center;">尾括型</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">はじめ</td> <td style="text-align: center;">話題提示</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td style="text-align: center;">事例(根拠)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">自分の体験</td> <td style="text-align: center;">見聞きしたこと</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">終わり</td> <td style="text-align: center;">意見</td> </tr> </table>	文章構成の工夫	尾括型	はじめ	話題提示	中	事例(根拠)	自分の体験	見聞きしたこと	終わり	意見	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">文章表現の工夫</td> <td style="text-align: center;">文末表現</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">話題提示</td> <td style="text-align: center;">問いかけの文</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事実</td> <td style="text-align: center;">～です。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">意見</td> <td style="text-align: center;">～思います。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">～と考えます。</td> <td></td> </tr> </table>	文章表現の工夫	文末表現	話題提示	問いかけの文	事実	～です。	意見	～思います。	～と考えます。		<p style="text-align: right;">11 / 16 (月) 「本物の森」で未来を守る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>本時のめあて</p> <p>環境を守るために、根拠を持って自分の意見を書く。</p> </div> <p style="text-align: center;">要旨ーその文章の内容や筆者の考えの中心となることがら。</p> <p style="text-align: center;">自然災害に力強い「本物の森」はほとんどなくなってしまうから、だから、人のいのちを守るため、もう一度日本に昔からあった「本物の森」を再生していかなければならないと思う。</p>
文章構成の工夫	尾括型																						
はじめ	話題提示																						
中	事例(根拠)																						
自分の体験	見聞きしたこと																						
終わり	意見																						
文章表現の工夫	文末表現																						
話題提示	問いかけの文																						
事実	～です。																						
意見	～思います。																						
～と考えます。																							

8 マイシートの利用

	B			
		C	A	A

学習のめあて 環境を守るために、根拠を持って自分の意見を書く

一 あなたの意見を書こう

一 環境を守るための方法について、根拠を持って

マイシート3

6 本時の展開 (7 / 9)

(1) ねらい

文章構造の特徴を基に意見文を見直すことを通して、根拠となる事実を基にした意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「マイシート3」の拡大、意見文の例文

※教室掲示－学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表

(3) マイシート 「マイシート3」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。 本時のめあて－意見文を見直して、意見が伝わりやすい意見文にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や文章表現を使えているかな。 ・事実を基にして根拠が書けているかな。 ・意見が伝わる意見文になっているかな。 <p>2 環境を守るため、根拠を基に自分の意見を持ち、尾括型で意見文を仕上げる。</p> <p>(1)意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成や文章表現に気を付けて書こう。 <p>(2)自分で意見文を見直し、修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾括型になっているな。 ・始めは、問いかけの文になっているな。 ・根拠として事実を書いてあるな。他の事実も増やそうかな。 ・意見の文末は「思います」になっているな。 <p>(3)友達の意見文を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠がきちんと書けているかな。 ・良く分からないな。事実の説明を詳しくした方が良くいと助言しよう。 ・文末表現を直すよう教えてあげよう。 	<p>5分</p> <p>35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題と本時との関連を伝えたり、第1時で書いた身に付けたい力を思い出させたりして、目的意識を持って意見文を書かせる。 ・「マイシート3」Aに記述した文章構成の工夫や文章表現の工夫、Bに記述した尾括型の文章構成の内容をもう一度振り返らせることで意見文に利用できるようにさせる。 ・教師は、児童の書いた意見文の進捗状況を把握しておき、必要に応じて個へ助言をしていく。 ・「マイシート3」Cに意見文の続きを書かせる。 ◎どの段落を書こうとしているか尋ねたり、自分の体験を話させたりして、書くきっかけをつかませる。 ・意見文を書き終えた児童には、より良い文章に仕上げるため、「マイシート3」Aに記述した文章構成の特徴の利用について確認と修正をさせ、利用できていたら赤で丸印を付けさせる。 ・修正の方法は、直す言葉や文章は線で見え消しをし、直した言葉や文章は赤で書くことを知らせ、児童の表現の変容を後で見取れるようにする。 ・友達の意見文に文章構成や文章表現が適切に利用されているかを確認をさせることで、意見が伝わりやすい意見文の表現について理解を深めさせる。 ・少人数(3人程度)のグループで「マイシート3」を交換して意見文を読み合わせ、「マイシート3」Aに記述した文章構造の特徴の利用の確認と助言を相互にさせる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に気を付けること。 ・根拠を持って自分の意見を書くこと。 ・文末表現を正しく書くこと。 	<p>5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「意見が伝わりやすい意見文にするために気を付けたこと」について記述させ、意見文を書くときに文章構造の特徴を利用するという意識付けと理解を定着させる。 <p>【読む】</p>

◇環境を守るための方法について、根拠を基に自分の意見を持っている。(マイシート3)

※事実に基づく意見が書けていればB評価

【書く】

◇尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実を書いている。(マイシート3)

※尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実が一つ書けていればB評価

7 板書計画

11 / 17 (火)

学習課題
環境を守るため、私の意見を発表します
ー根拠を持って、意見文を書くー

本時のめあて
意見文を見直して、意見が伝わりやすい意見文にする。

文章構成の工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 自分の体験 見聞したこと 終わり 意見	文章表現の工夫	文末表現 話題提示 問いかけの文 か。 ～です。 ～です。 ～です。 ～と考えます。 ～と思います。
---------	---	---------	---

みなさんは、使わない部屋の電気を消していますか。
私は、自分の部屋の電気は使わないときはきちんと消しています。電気の八十八パーセントは、火力発電で作られているそうです。火力発電では、ガスや石油を燃やして作っているそうです。つまり、燃料を燃やしているので二酸化炭素を出しているのです。
私は、二酸化炭素を少しでも減らし地球温暖化を防ぐために、使わない部屋の電気はこまめに消したいと思います。

8 マイシートの利用

マイシート3

学習のめあて 環境を守るために 根拠を持って自分の意見を書く
ー環境を守るための方法について、根拠を持ってあなたの意見を書こう。

	B		文章構成の工夫
			A 文章表現の工夫
		C	A

6 本時の展開 (8 / 9)

(1) ねらい

友達や教師からの助言を基に意見文を修正することを通して、根拠となる事実を基にした意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師—学習課題、「マイシート3」の拡大、意見文の例文

※教室掲示—学習計画表、「意見文を書くために身に付けたい力」

児童—教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用紙

(3) マイシート 「マイシート3」

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて—助言を基に修正し、意見が伝わりやすい意見文にする。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は助言を基にして意見文を修正した後に清書を行うことを伝えることで、見通しを持って意欲的に学べるようにさせる。 ・文章構成が整い、根拠が述べられている意見文になるように、教師からの助言も「マイシート3」に適宜記入しておく。 <p>◎助言の内容や直す方法が分からない時は、友達や教師に相談するよう伝え、修正作業が進むようにさせる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・どんな助言が書いてあるかな。 ・文末表現を直す必要があるな。 ・事実をもっと詳しく書こう。 		
<p>2 助言を基にして、文章を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分では気付かなかったことがある。 ・前より意見が伝わりやすい文章になった。 ・どう直せばいいのだろう。聞いてみよう。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・修正の方法として、直す言葉や文章は消さずに線を引いて見え消しを使い、新たな言葉や文章は赤で右側に書くことを知らせ、児童の表現の変容を見取れるようにする。 ・助言で書かれた内容を参考にしながら、文章構成や文章表現が適切に利用できているか各自で再確認させ、意見が伝わりやすい文章に修正させる。
<p>3 意見文を清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成は尾括型。 ・文末表現に気を付ける。 ・根拠は事実を書く。 ・根拠と事実につながりを持たせる。 	25分	<ul style="list-style-type: none"> ・清書用紙(次頁「9 その他」参照)にも、「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の枠を設け、使いたい文章構造の特徴を記述させることで、清書でも意識して書けるようにさせる。 <p>◎意見文を努力して作成してきたことを認め、清書にも意欲を持たせる。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成に気を付けること。 ・事実を詳しく書くこと。 ・文末表現。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「意見が伝わりやすい意見文にするために気を付けなくてはならないこと」について書かせたり、清書用紙の「文章構成の工夫」「文章表現の工夫」の文章構造の特徴が利用できたか丸印を付けさせたりする。
		<p>【読む】 ◇環境を守るための方法について、根拠を基に自分の意見を持っている。(マイシート3・清書用紙) ※事実に基づく意見が書けていればB評価</p> <p>【書く】</p>

◇尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実を書いている。
(マイシート3・清書用紙)
※尾括型の文章で、意見とその根拠となる事実が一つ書けていればB評価

7 板書計画

11 / 18 (水)

学習課題
環境を守るため、私の意見を発表します
ー根拠を持って、意見文を書くー

本時のめあて
助言を基に修正し、分かりやすい意見文にする。

文章構成の工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 自分の体験 見聞きしたこと 終わり 意見	文章表現の工夫	文末表現 話題提示 問いかけの文 ～か。 ～です。 ～ます。 ～と思います。 ～と考えます。
	みなさんは、使わない部屋の電気を消していますか。 私は、自分の部屋の電気は使わないときはきちんと消しています。電気の八十八パーセントは、火力発電で作られているそうです。火力発電では、ガスや石油を燃やして作っているそうです。つまり、燃料を燃やしているので二酸化炭素を出しているのです。 私は、二酸化炭素を少しでも減らし地球温暖化を防ぐために、使わない部屋の電気はこまめに消したいと思います。		

8 マイシートの利用
第7時と同様

9 その他
・清書用紙

文章構成の工夫		文章表現の工夫	

学習のめあて 助言をもとに修正し、分かりやすい意見文にする

ー環境を守るための方法について、あなたの意見を尾括型の文章構成で、根拠を持って書くことー

6 本時の展開 (9 / 9)

(1) ねらい

意見文を発表したり聞いたりすることを通して、根拠を持って意見を述べる大切さを理解することができる。

(2) 準備

教師－学習課題、「意見文を書くために身に付けたい力」、グループ編成表

※教室掲示－学習計画表

児童－教科書、学習帳、国語辞典、学習計画表、清書用原稿用紙、チェックシート

(3) マイシート なし

(4) 展開

学習活動 ・ 予想される児童の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価)
<p>1 学習課題と本時のめあてを知る。</p> <p>本時のめあて－意見文の発表を聞いて、友達の見解とその根拠が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見が友達に伝わるかな。 ・友達はどんな意見文を書いたのかな。 ・根拠が書けているかな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文の発表を行うことで、意見を分かりやすく伝えるのに必要な力を振り返ったり、自分や友達にその力が付いたか確かめさせたりする。 ・チェックポイントの表(次頁「9 その他」参照)を用いて評価と感想を書くことを伝えることで、観念を持って友達の意見文が聞けるようにさせる。 ◎学習を積み重ねて書いてきた意見文であり、自信を持って発表するように伝える。
<p>2 グループに分かれ、意見文を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠と意見がちゃんとつながっている。 ・根拠と意見が合っていない。 ・自分の意見と違うな。 ・意見は同じなのに根拠が違うな。 	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数(5人程度)のグループで、清書用紙に書いた意見文を順番に発表させる。できるだけ話題などが異なる意見文の児童が集まるように教師が意図的にグループを編成し、多様な考え方に気付かせる。 ・発表と評価は全グループ同時進行にし、児童が集中して聞いたり評価したりできるようにする。 ・チェックポイントの書かれた表を配布し、評価と感想を書かせる。 【チェックポイント】 ①話題提示の問いかけ文で関心を持てたか。 ②根拠として挙げた事実が適切だったか。 ③意見が伝わってきたか。 ◎発表する態度や声の大きさも大切であることを伝え、意見文をしっかり読むように指導する。
<p>3 全体で意見文を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントの全てが丸だな。 ・事実が述べられているな。 ・根拠と意見のつながりがいいな。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・文章構造の特徴を利用でき、意見と根拠のつながりが良い意見文を書いた児童を数名指名し発表させることで、分かりやすい意見文にするために、文章構成を整え、根拠を基に意見を持つことの大切さを全体で再確認させる。
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を基に意見を持つ。 ・事実を基にして根拠を述べる。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表に「意見文を書く時に大切なこと」について記述させ、学習課題の解決を通して身に付けたい力を見取る。 【書くこと】

◇意見文では、根拠を基に意見を持ち、事例で根拠を述べることを理解している。(学習計画表)
 ※根拠を述べることが書いてあればB評価

7 板書計画

	11 / 19 (木)						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">文章 構成の 工夫</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 自分の体験 見聞きしたこと 終わり 意見</td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">文章 表現の 工夫</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">文末表現 話題提示 問いか けの文 か。 事実 そうです。 きます。 意見 생각합니다。 考えます。</td> </tr> </table>	文章 構成の 工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 自分の体験 見聞きしたこと 終わり 意見	文章 表現の 工夫	文末表現 話題提示 問いか けの文 か。 事実 そうです。 きます。 意見 생각합니다。 考えます。	<p>意見文を書くために身に付けたい力</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章構成(文章の組み立て)を理解する力 筆者の主張(考え)を見つめる力 根拠を基に自分の意見を持つ力 文章構成や文章表現を工夫して書く力 	<p>本時のめあて</p> <p>意見文の発表を聞いて、友達の意見とその根拠が分かる。</p>	<p>学習課題</p> <p>情報との関わり方について自分の意見を発表しよう。</p> <p>1 根拠を持って、自分の意見を書く。</p>
文章 構成の 工夫	尾括型 始め 話題提示 中 事例(根拠) 自分の体験 見聞きしたこと 終わり 意見						
文章 表現の 工夫	文末表現 話題提示 問いか けの文 か。 事実 そうです。 きます。 意見 생각합니다。 考えます。						
	<p>グループ1 (児童名)</p> <p>グループ2 (児童名)</p> <p>グループ3 (児童名)</p> <p>グループ4 (児童名)</p> <p>グループ5 (児童名)</p>						

8 マイシートの利用

本時はなし

9 その他

・チェックポイントの表

感想 よかったこと うまかったこと 書きました	⑤意見が 伝わって きたか	⑥根拠として 適当だった実が	⑦話題提示の か関心を 持てたか	⑧ポイント △もよい ○もよい △も少し	チェック ポイント	学習のめあて 意見文の発表を聞いて、友達の意見とその根拠が分かる。
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎		友達の名前	
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎			
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎			
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎			
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎			
	△ ○ ◎	△ ○ ◎	△ ○ ◎			

マイシート1

一 文章構成を捉える

文章構成	小見出し	文章構成の特徴

二 同じ文章構成で意見文を書く

話題 「 」		

マイミート

一 文章構成を捉える

読むこと	文章構成	小見出し	文章構成の特徴
	書かれている内容 (話題提示・主張・事例など)	大まかな内容	文章構成の特徴について 気付いたこと
始め・中・終わり			

二 同じ文章構成で意見文を書く

書くこと	話題	「	」
	書く内容 (話題提示・主張・事例など)	身近な話題を提示	筆者と同じ 文章構成で 書く
始め・中・終わり			

マイミート2

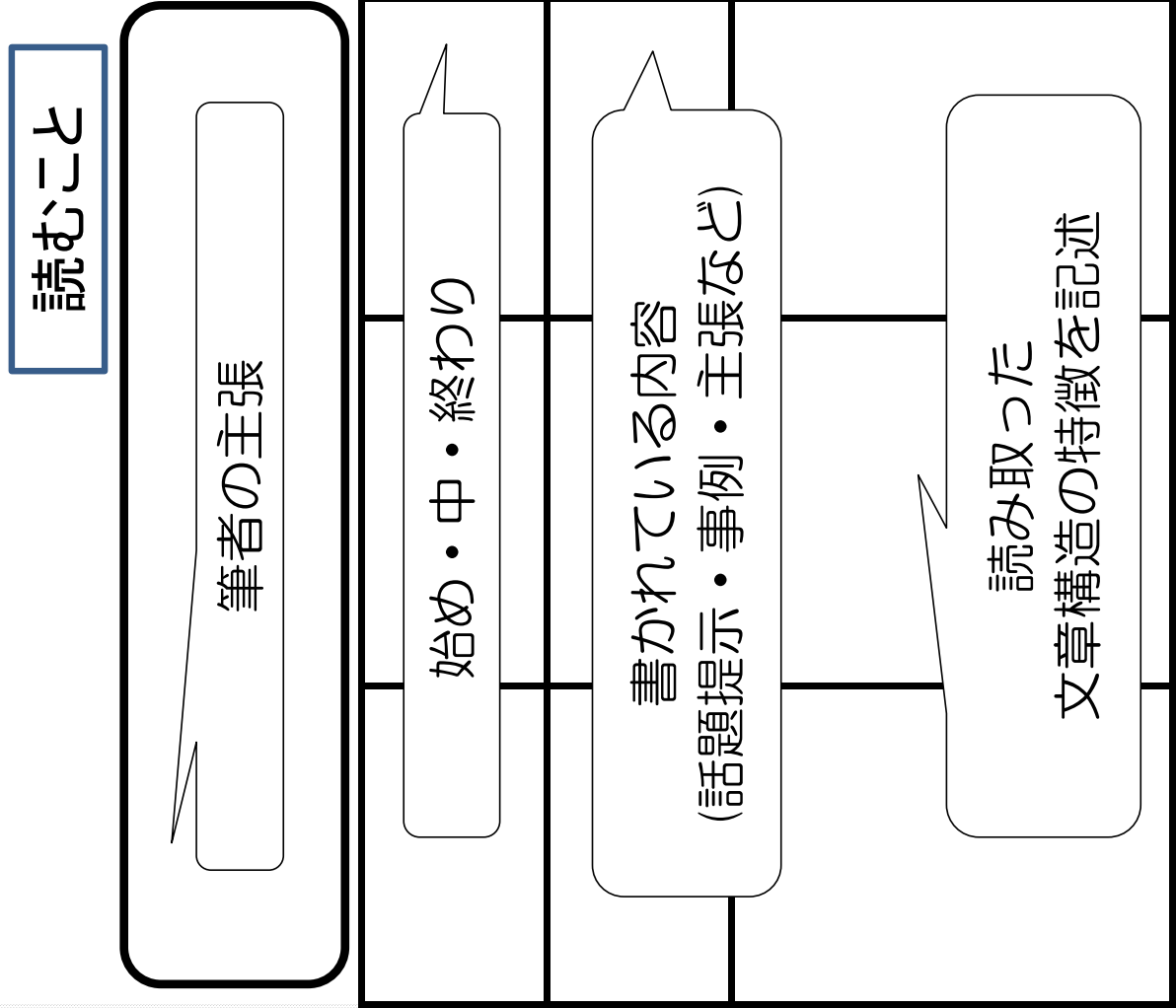
一 身に付けたい文章構造の特徴に気付く

二 文章構造の特徴と効果を理解する

--

マイミート2

一 身に付けたい文章構造の特徴に気付く



二 文章構造の特徴と効果を理解する



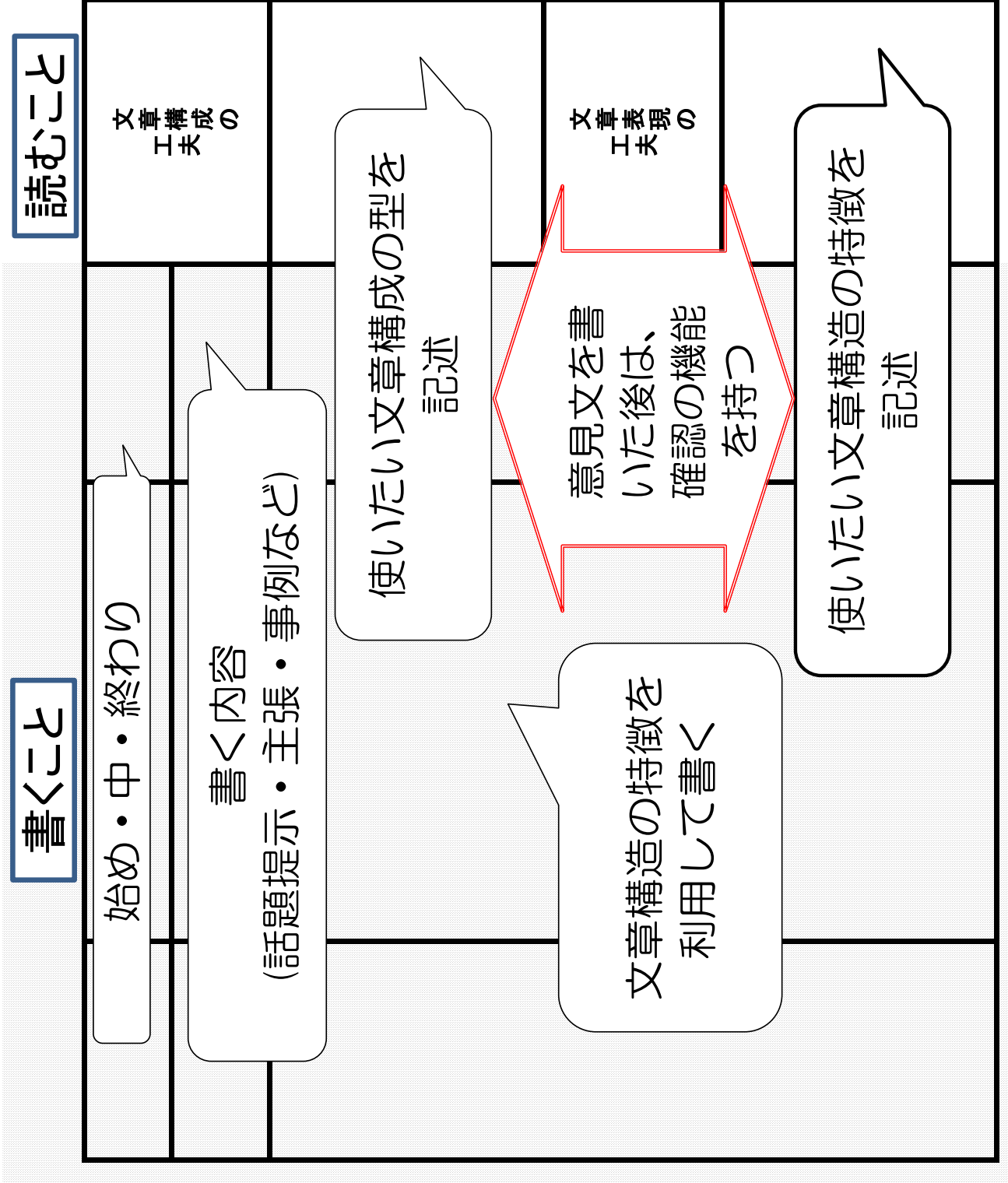
マイミート3

文章構造の特徴を利用して自分の考えを書く

文章構成の 工夫の		文章表現の 工夫の	

ポイント3

文章構造の特徴を利用して自分の考えを書く



文章構造一覧表

		「書くこと」	「読むこと」	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
第1・2学年	構成・段落	「始め－中－終わり」の構成 内容のまとめり 説明する順序 事柄の順序	文章の構成 時間的な順序 事柄の順序	文及び文章の構成
	内容	自分の考え 伝えたいこと、紹介したいこと	自分の思いや考え 大事な言葉や文	
	文章表現	語と語及び文と文の続き方 主語と述語 敬体と常体 助詞(は・へ・を) 句読点	順序を表す言葉 文末表現	主語と述語 敬体と常体 助詞(は・へ・を) 句読点
第3・4学年	構成・段落	文章の構成 「冒頭部－展開部－終結部」 段落の役割 段落相互の関係 形式段落 意味段落 中心となる内容	文章の構成 「冒頭部－展開部－終結部」 段落 段落相互の関係	文及び文章の構成
	内容	事例 理由 原因 事物・実例 自分の考え	事実 意見 要点 要約 小見出し 中心となる語や文 考えたこと	
	文章表現	文末表現 敬体と常体 副詞句(なぜかという、その理由は、) 改行	文末表現 接続語 指示語	接続語 指示語 改行 句読点
第5・6学年	構成・段落	文章全体の構成 「序論－本論－結論」 「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」 総括の位置(頭括型・尾括型・双括型)	文章全体の構成 構成の仕方 筆者の意図や思考	文及び文章の構成
	内容	事例 確かな理由や根拠 事実 感想 意見 要約 自分の考え	話題 事例 根拠 理由 論証 説得 事実 感想 意見 要旨 自分の立場 自分の考え 主張	
	文章表現	表現の効果 記述の仕方 優れた表現を模倣 書き出し 引用 図表やグラフ	表現の工夫 巧みな叙述	文の性質や機能 語句と語句との関係 文章を特徴付ける語句